

津軽自動車道（^{かしわ}柏～^{うきた}浮田）

計画段階評価 第3回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	1
2. 第2回意見聴取の結果	6
3. 対応方針（原案）の検討	24
4. 自治体への意見照会結果	30
5. 対応方針（案）のまとめ	32

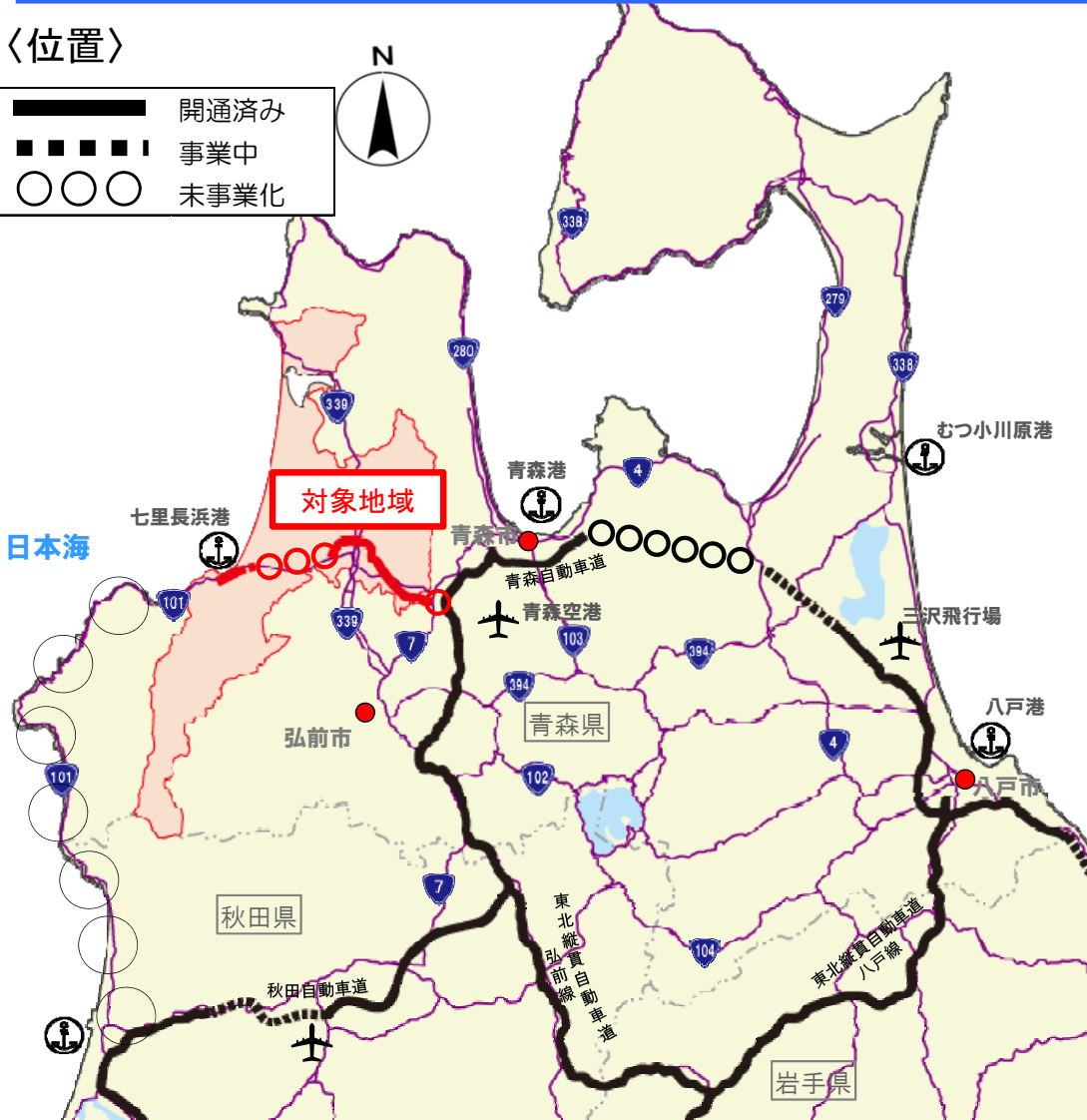
1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 青森県内の高規格幹線道路網

- ◆津軽自動車道は、東北縦貫自動車道弘前線の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路。
- ◆対象地域は、日本海沿岸に近く、岩木山のおもとに広がる津軽平野の中に位置し、主に市街地と豊かな水田地帯により構成される地域。

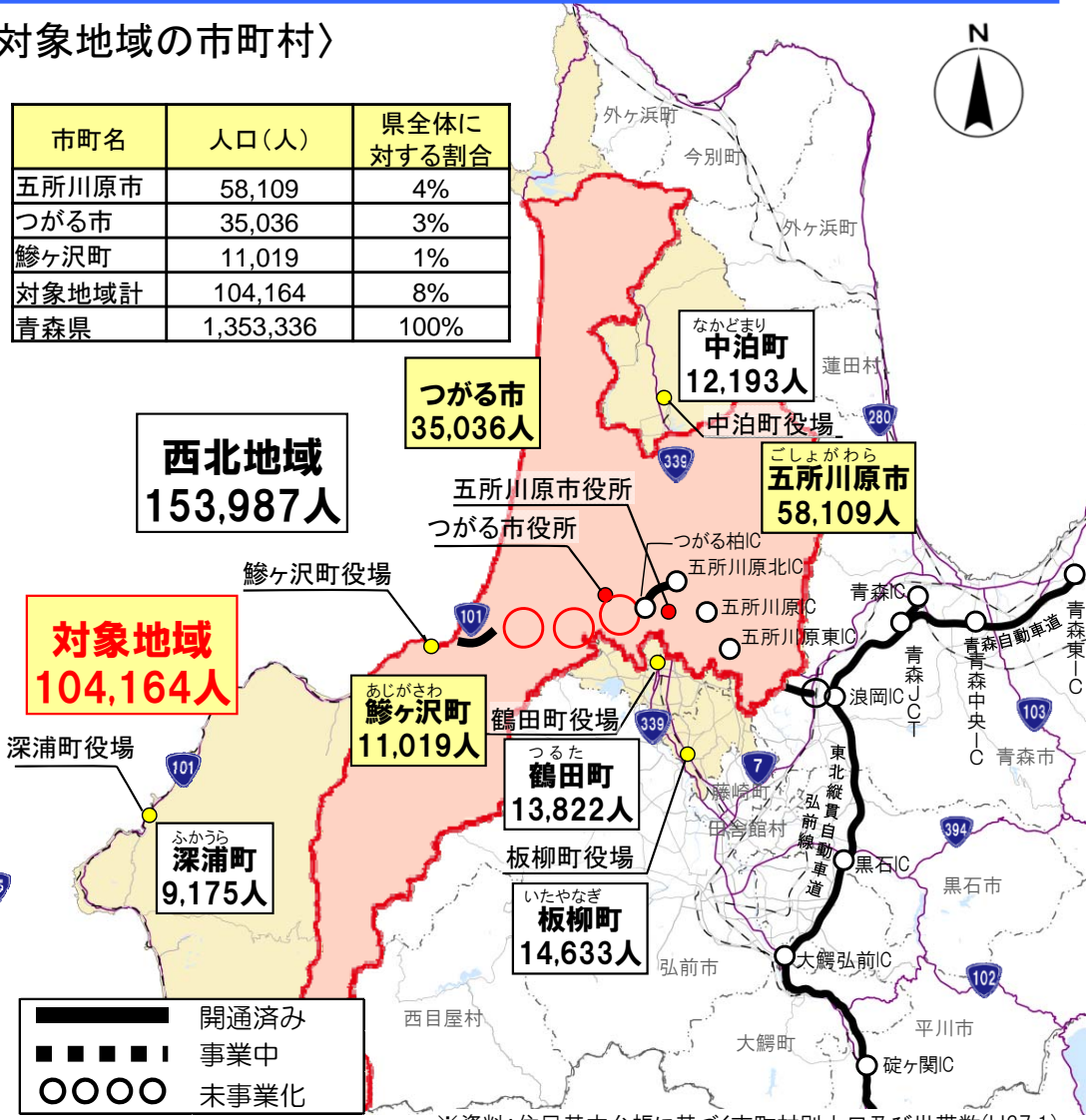
〈位置〉

開通済み
 事業中
 未事業化



〈対象地域の市町村〉

市町名	人口(人)	県全体に対する割合
五所川原市	58,109	4%
つがる市	35,036	3%
鱒ヶ沢町	11,019	1%
対象地域計	104,164	8%
青森県	1,353,336	100%

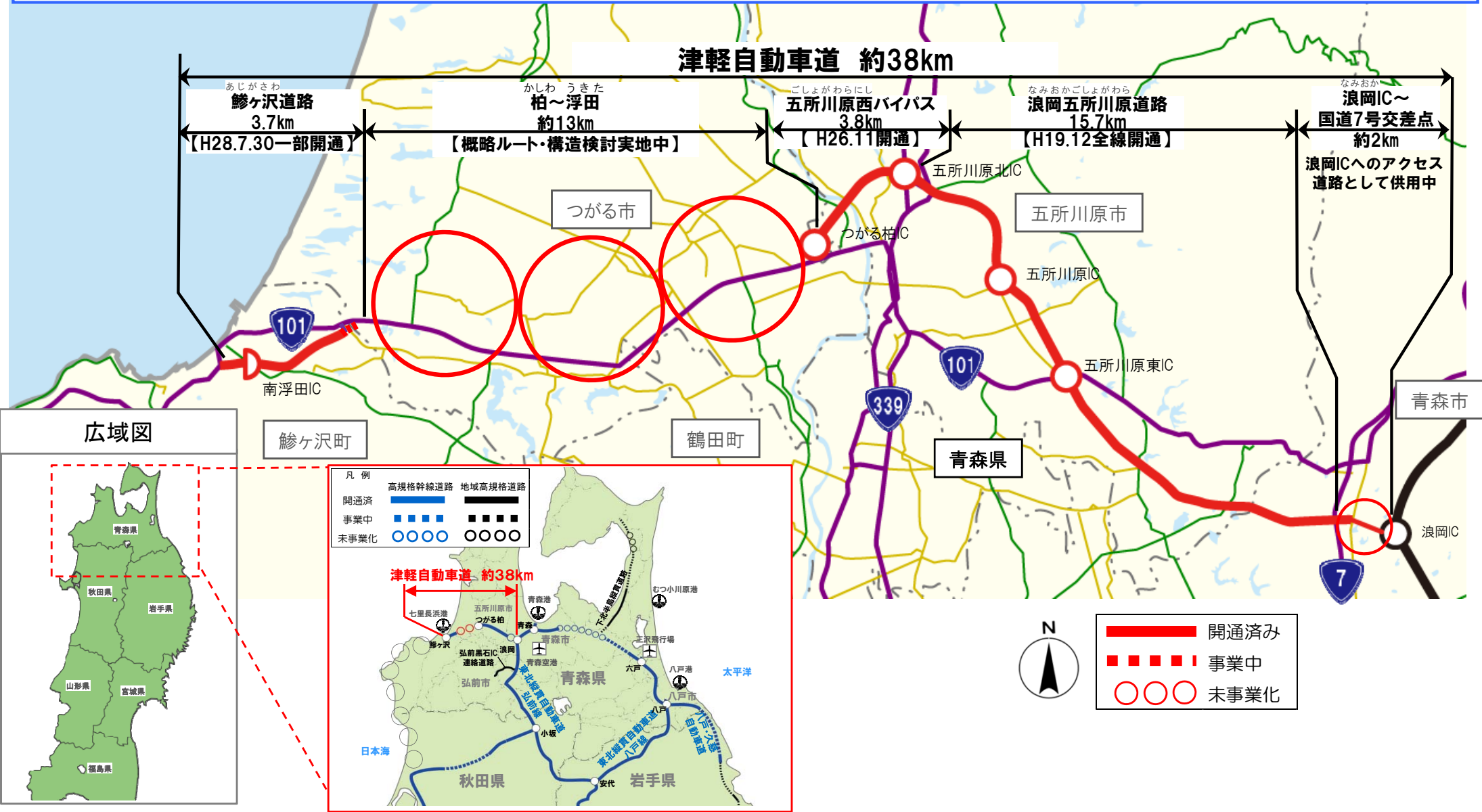


開通済み
 事業中
 未事業化

※資料:住民基本台帳に基づく市町村別人口及び世帯数(H27.1)

1-2. 津軽自動車道の進捗

- ◆ 今回の対象区間は、五所川原西バイパスの終点部と鱒ヶ沢道路起点部を連絡する「柏～浮田」区間。
- ◆ 津軽自動車道 約38kmのうち、浪岡五所川原道路、五所川原西バイパス、鱒ヶ沢道路の計約23kmが開通済。
- ◆ 東北道の浪岡ICから浪岡五所川原道路起点部の間は、浪岡ICへのアクセス道路として供用中。



●社会資本整備審議会 道路分科会 第15回東北地方小委員会の概要

実施日:平成 27年 8月 5日(水) 開催

主な議事:

- ① 第1回意見聴取の結果
- ② 対応方針の検討
- ③ 意見聴取方法

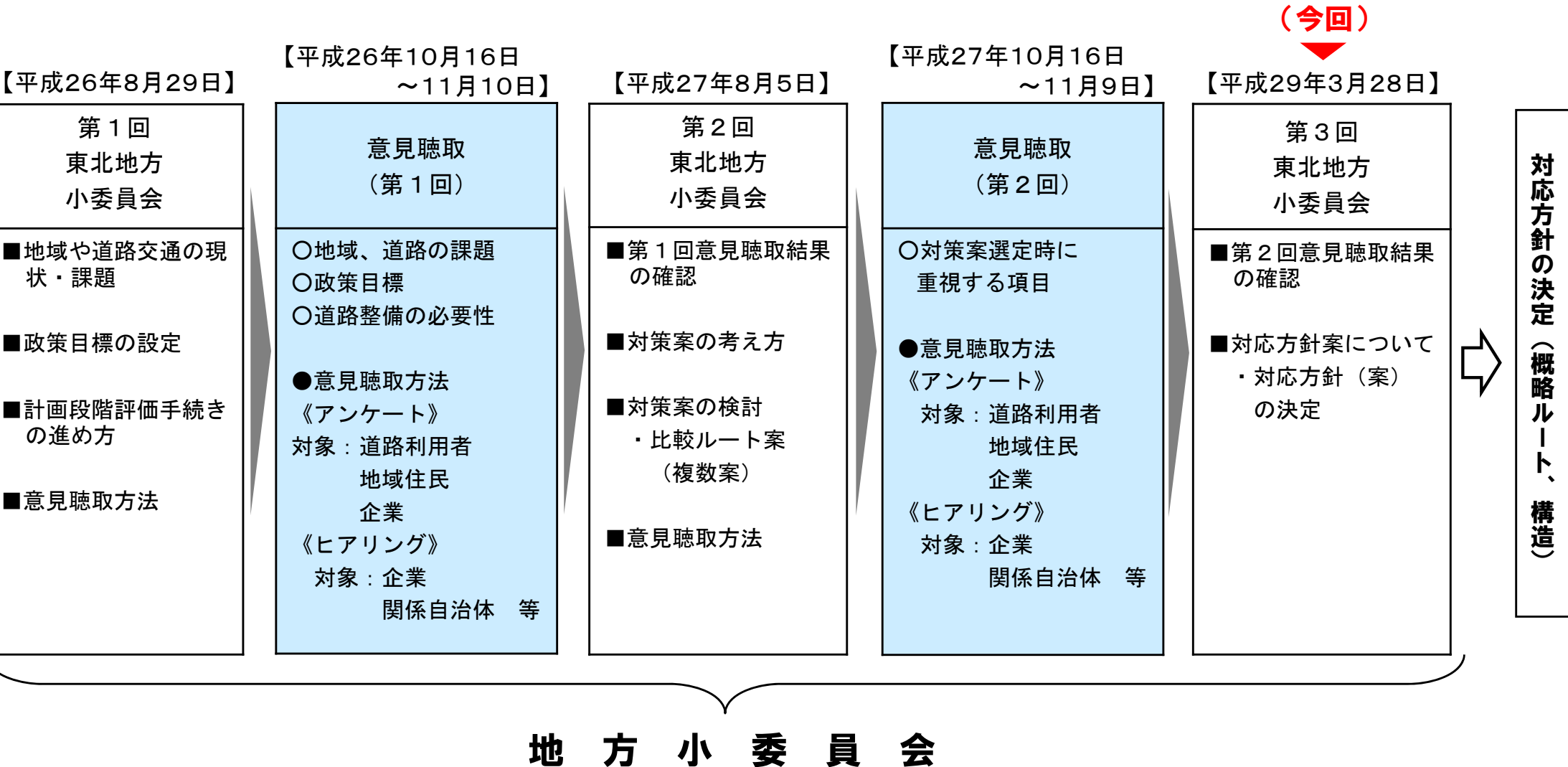
●第15回東北地方小委員会での主なご意見と対応状況

主なご意見		対応状況
【第1回意見聴取の結果について】		
意見聴取結果 とりまとめ方法	・第1回意見聴取結果の「当該地域の道路に求める機能」について、市町単位の分析に加えて、道路の利用形態(目的・頻度)なども考慮し、地区単位まで掘り下げて分析してみたい。	・意見聴取結果について、可能な範囲で各市町の地区単位に掘り下げて分析を実施。
意見聴取結果 とりまとめ方法	・自由回答において、否定的な意見はみられなかったのか。	・自由回答における否定的な意見について整理。
【第2回意見聴取(案)について】		
意見聴取	・第2回意見聴取で提示するルート帯案の比較表について、アンケートの回答者が理解できるよう、わかりやすく表現するなど工夫していただきたい。	・先行事例を参考にしながら、わかりやすい表現に修正。
意見聴取	・第2回意見聴取に当たっては、「整備に関する費用」に、「除雪などの維持管理費用」を加えた「ライフサイクルコスト」として、意見聴取すべきである。	・各対策案のコストにおいては「整備に関する費用」が大きな割合を占めており、比較の際に「維持管理費用」の差による影響は少ないことが確認されたため、経済性は「整備に関する費用」として整理。

1-3. 計画段階評価の検討の流れ

●計画段階評価手続きの進め方、スケジュール

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画[概略の計画案(複数案)]について検討を行う。



2. 第2回意見聴取の結果

2-1. 第2回意見聴取の実施内容

- ◆意見聴取は、アンケート調査及びヒアリング調査を以下のとおり実施。
- ◆意見聴取期間：平成27年10月16日(金)～11月9日(月) ※約3週間半

●意見聴取実施概要

住民・道路利用者アンケート		配布数	回収数	9,050部
郵送 全戸配布	五所川原市 (25,254世帯)	23,528部	3,613部 (回収率15%)	
	つがる市 (13,579世帯)	11,469部	2,719部 (24%)	
	鱒ヶ沢町 (4,659世帯) ※1	4,106部 ※2	1,262部 (31%)	
	合計 (43,492世帯)	39,103部	7,594部 (19%)	
留置き	周辺市町村役場、道の駅等	(24箇所)	1,126部	
WEB	WEBページ開設	—	330部	
	事務所、県、市町HP掲載	—	—	
企業ヒアリング		実施数		
ヒアリング	対象区間の利用が想定される企業・団体等	66企業・団体		

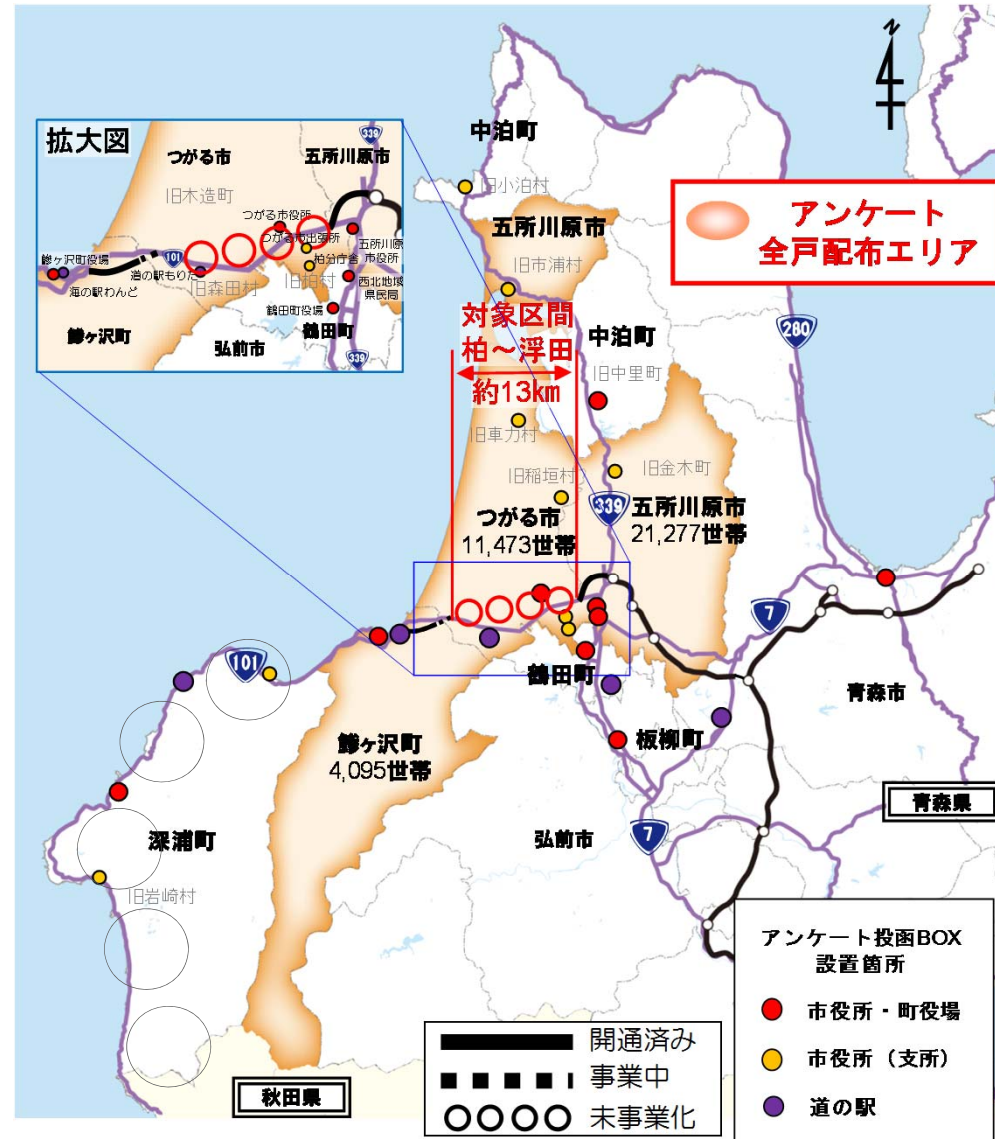
※1 世帯数は、住民基本台帳に基づく市町村別人口及び世帯数(H27. 1)
 ※2 配布数は、対象地域内に存在する全ポストへ投函したため世帯数と異なる

【企業・団体ヒアリング先の内訳】

分類	全数 (企業・団体)	対象地域	
		対象地域	対象地域外
物流関係	12 (+1)	11 (+1)	1
観光・地域産業関係	26 (+7)	23 (+7)	3
教育関係	13	13	0
救急医療関係	5	5	0
防災関係	10 (+1)	10 (+1)	0
合計	66	62	4

※()は、第1回意見聴取からの増減数
 ※ヒアリング先は、第1回意見聴取の対象を基本としつつ、対象区間の利用が想定され、協力が得られた企業・団体を追加

●意見聴取実施箇所図



2-2. 第2回意見聴取に関する広報の実施状況

◆新聞広告

- ・青森県内および対象地域で発行部数の多い2紙にアンケートへの協力を呼びかける広告を掲載。

◆ホームページ

- ・青森河川国道事務所ホームページにアンケート調査のページを開設。
- ・対象地域と周辺の自治体ホームページ等にアンケート実施中のお知らせを掲載。（青森県ほか、2市5町）

◆広報誌

- ・対象地域の市町が発行する広報誌に、アンケートへの協力を呼びかける記事の掲載やチラシの挟み込み。

●新聞広告（東奥日報・陸奥新報 11月1日朝刊に掲載）

アンケートにご協力をお願いします。
津軽自動車道（柏～浮田）の計画検討に関するアンケート（第2回）を実施しています。

アンケート実施期間 平成27年 11月 9日（月）まで
アンケートの回答方法

- 【返信用はがきによる回答】
- 【インターネットによる回答】

回収ボックス設置箇所

お問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課
〒030-0822 青森県青森市千代田3-38 TEL:017-734-4570
http://www.thr.mlit.go.jp/aomor/

●広報誌による広告の実施

<つがる市(チラシ挟み込み)>

<五所川原市(広報誌掲載)>

《つがる市土木課からのお知らせ》
津軽自動車道（柏～浮田）の計画検討に関するアンケート（第2回）
～アンケートにご協力お願いします～

◆アンケート実施期間 平成27年 11月 9日（月）まで

◆アンケート対象区域

◆アンケートの回答方法

お問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課
〒030-0822 青森県青森市千代田3-38 TEL:017-734-4570
http://www.thr.mlit.go.jp/aomor/

2015(平成27年) 11 No.235

津軽自動車道(柏～浮田)の計画検討に関するアンケート(第2回)

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の沿線1Cから日本海沿岸地域までを結ぶ、計画延長約38kmの高規格幹線道路です。本事業化区間である柏～浮田間の道路整備の計画検討にあたり、本道路が広域ネットワークを形成しつつ、地域の皆さんにも便利で安心できる道路になるよう、対策案(概ねのルート案)を検討していく上で重視すべき項目等についての意見を伺っています。

アンケート実施期間 11月9日(月)まで
回答方法 各世帯に郵送したアンケート調査はがきの返信用はがきに記入の上、返信してください(返信用はがきは、県庁・市役所正面玄関、道の駅などに設置)。

アンケート対象区域

●アンケートページへのリンクバナー・「お知らせ」を掲載

<鯉ヶ沢町>

青森県鯉ヶ沢町

津軽自動車道に関するアンケート実施中(第2回)
津軽自動車道(柏～浮田)の計画検討に関する第2回目のアンケート調査を行っています。

○アンケート実施期間 平成27年11月9日(月)まで

○[詳細チラシ\[PDF\]](#)

○インターネットからの回答は、[こちらをクリック](#)

お問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課
電話:017-734-4570

<青森みち情報HP(青森県)>

青森県道情報サイト

津軽自動車道(柏～浮田) **ご意見募集**
(締切 11月9日まで)

緊急規制情報(通行止め)

現在の情報・注意報

◆地域への情報提供

- ・ 防災無線を活用し、各家庭へ意見聴取の協力依頼についてアナウンスを実施。（鱒ヶ沢町）
- ・ 対象地域で開催されたイベント等でのアンケートブースの設置。（五所川原市・つがる市・鱒ヶ沢町）
- ・ 周辺市町役場、道の駅等（全24箇所）においてポスター掲示並びにアンケート票と回収ボックスを設置。

●防災無線による協力依頼（鱒ヶ沢町）



＜防災無線放送の実施日程＞

日程	H27.10.22～11.9(平日)
時刻	19:30の定時放送内
内容	全戸配布アンケートへの協力をお願い

●イベントでの協力依頼

＜五所川原産業まつり(2015/10/24-25)＞



＜海の駅わんど 大収穫祭(2015/10/24)＞



●アンケート回収ボックスの設置

＜ポスター＞

＜留め置き＞



アンケートにご協力をお願いします。

津軽自動車道（柏く浮田）の計画検討に関するアンケート（第2回）を実施しています。

アンケート実施期間
平成27年
11月9日(月)まで

回収ボックス

道の駅もりた

インターネットによる回答

お問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課

http://www.thr.mit.go.jp/aomori/



2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

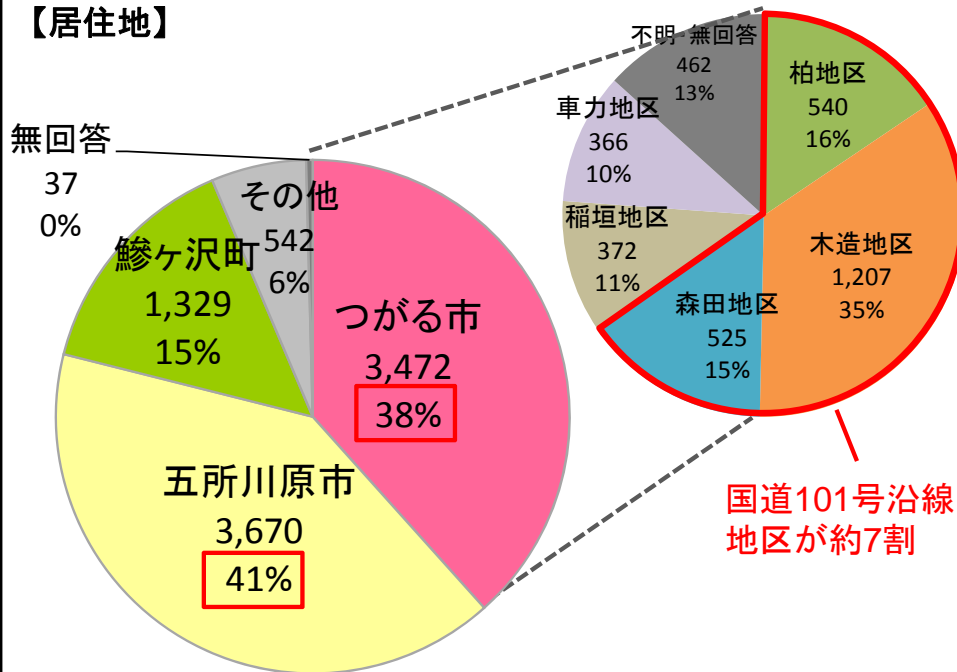
- ◆ 総回答数は9,050票であり、居住地別では五所川原市・つがる市が約4割ずつと多い。
- ◆ つがる市では国道101号沿線の柏・木造・森田地区からの回答が約7割。
- ◆ 年齢では幅広い年代からの意見が得られた。
- ◆ 職業では会社員が約3割、性別では男性が約7割と多い。



回答者属性

回答者の属性

【居住地】

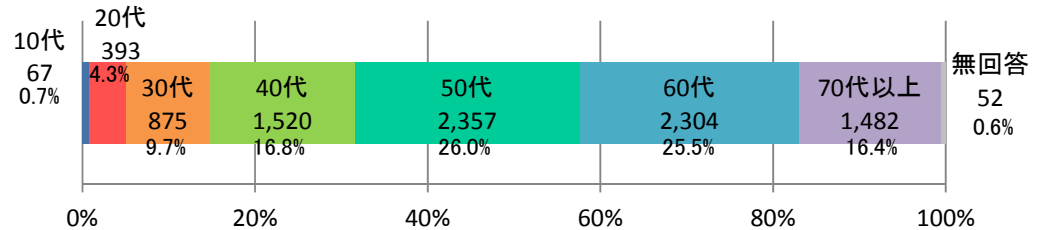


回答者数 N=9,050

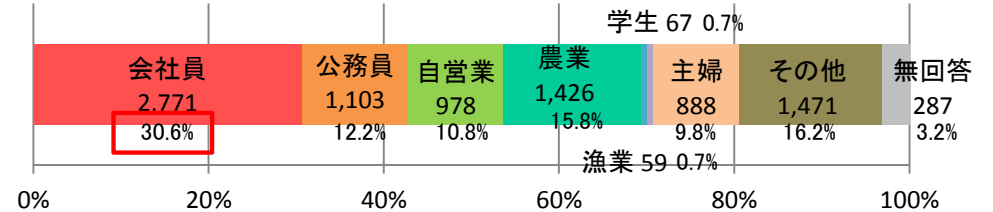
※「その他」内訳

地域	人
周辺自治体(西北地域)	248
他青森県内	283
青森県外	11

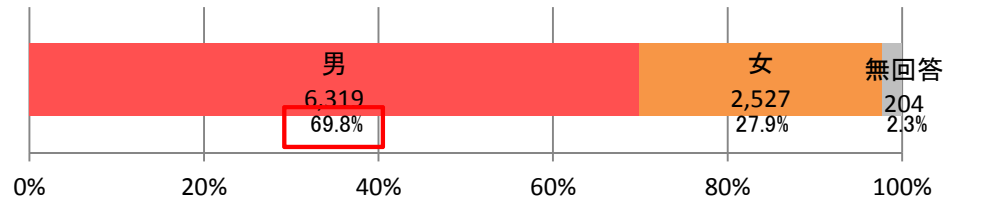
【年齢】



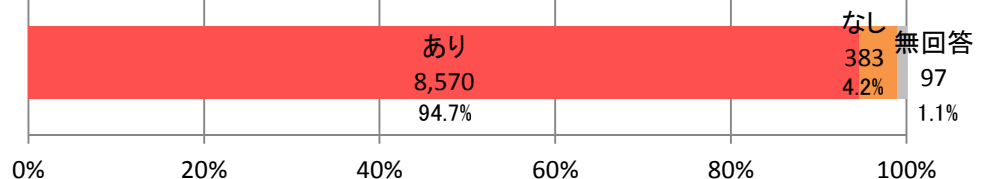
【職業】



【性別】



【運転免許】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

回答者数 N=9,050

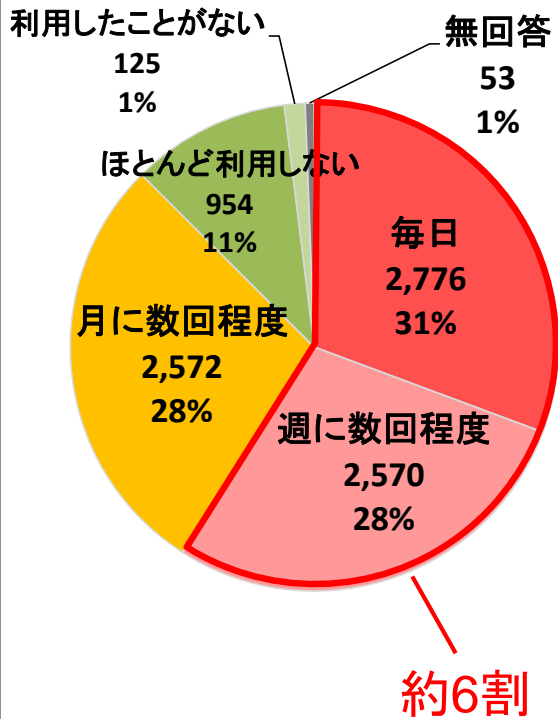
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆利用頻度では、約6割が「毎日」「週に数回程度」利用と回答。
- ◆居住地別では、鯉ヶ沢町・つがる市（柏、木造、森田地区）の約7～9割が「毎日」「週に数回程度」と回答しており、国道101号沿線地区の利用頻度が高い。

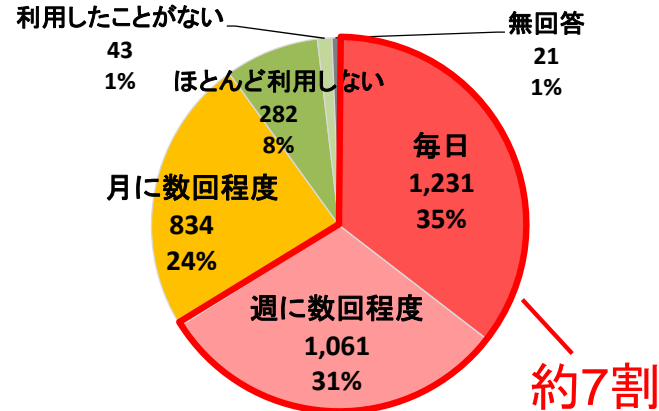
国道101号の利用頻度

【問1】国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？※1つ選ぶ

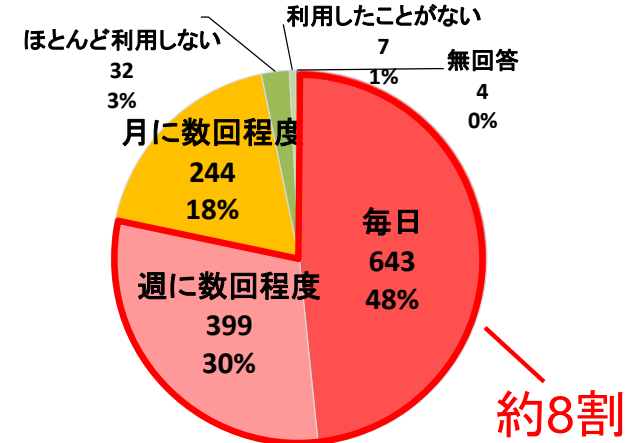
【全体】 回答者数 N=9,050



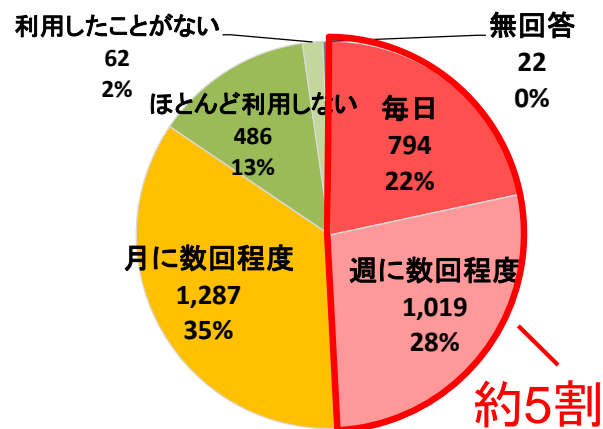
【つがる市】 回答者数 N=3,472



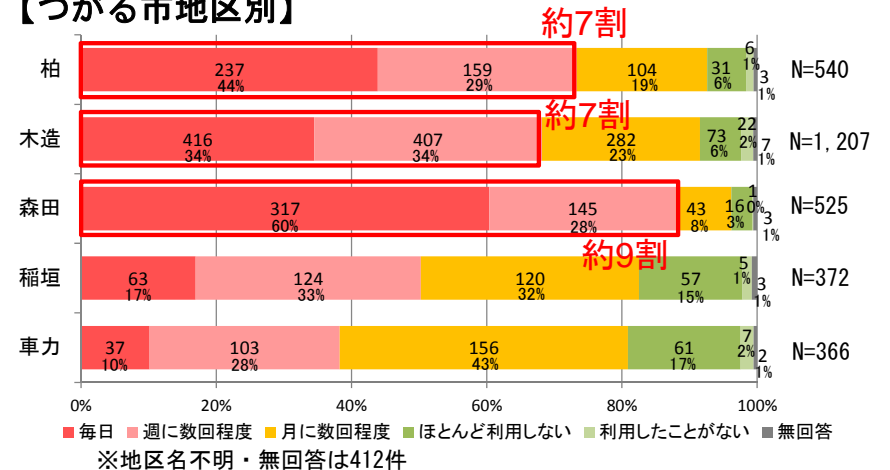
【鯉ヶ沢町】 回答者数 N=1,329



【五所川原市】 回答者数 N=3,670



【つがる市地区別】



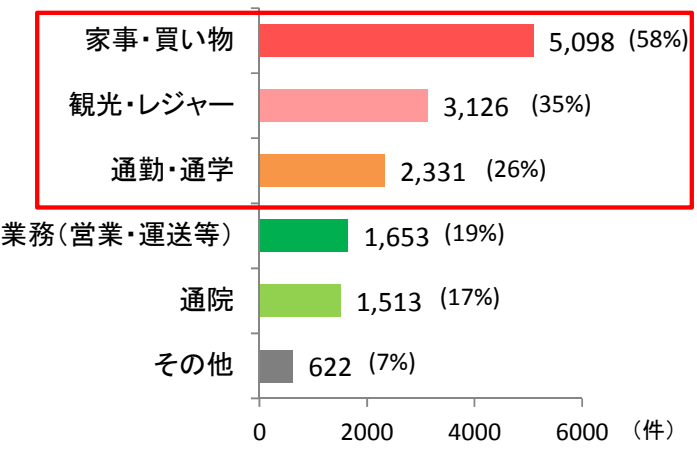
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆利用目的は、回答者の約6割が「家事・買物」、約4割が「観光・レジャー」と回答、次いで「通勤・通学」、「業務（営業・運送等）」が多い。
- ◆居住地別では、鱈ヶ沢町で「家事・買物」、「通勤・通学」、「通院」の回答が他の地域に比べ多い。

国道101号の利用目的

【問2】国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可

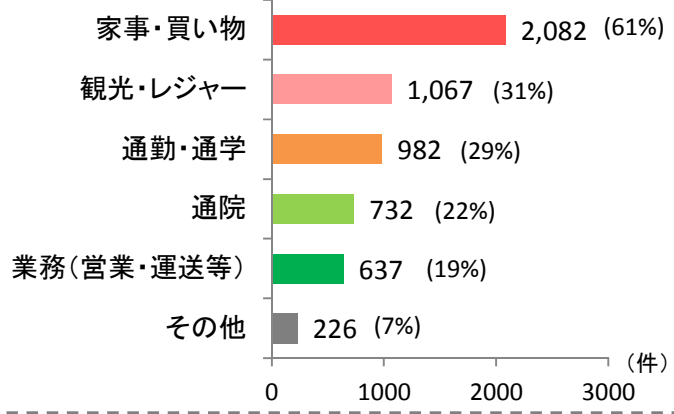
【全体】
回答者数 N=8,855、総意見数 N=14,343



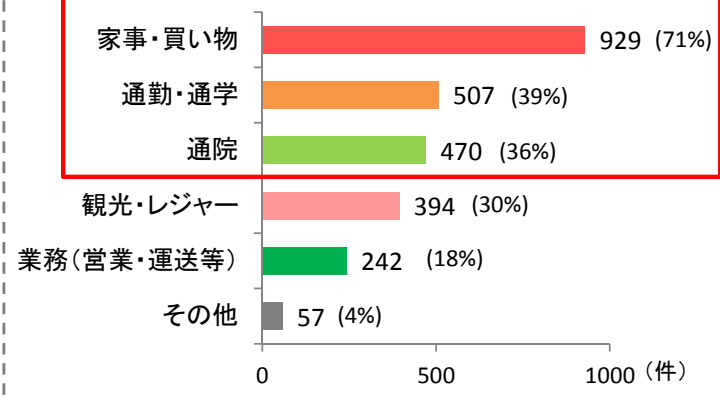
- ※その他の主な内容
- ・ 親戚宅訪問
 - ・ 帰省
 - ・ 送迎 等

※() は、回答者数に対する割合

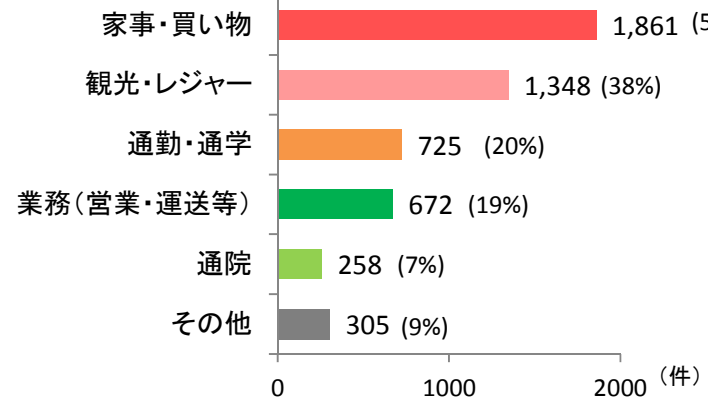
【つがる市】 回答者数 N=3,403、総意見数 N=5,726



【鱈ヶ沢町】 回答者数 N=1,315、総意見数 N=2,599



【五所川原市】 回答者数 N=3,568、総意見数 N=5,169



※() は、回答者数に対する割合

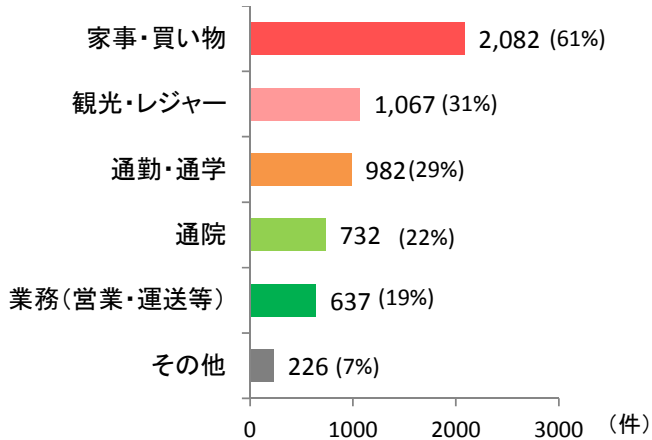
◆つがる市の地区別では、柏・森田では「通勤・通学」の回答割合が多い。

国道101号の利用目的（つがる市地区別）

【問2】 国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可

【つがる市】（再掲）

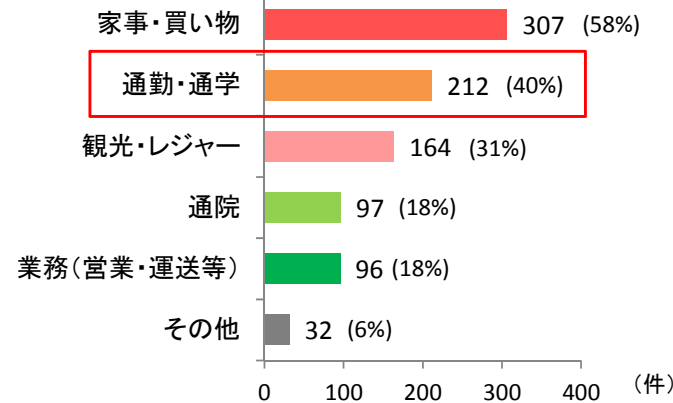
回答者数 N=3,403、総意見数 N=5,726



※() は、回答者数に対する割合

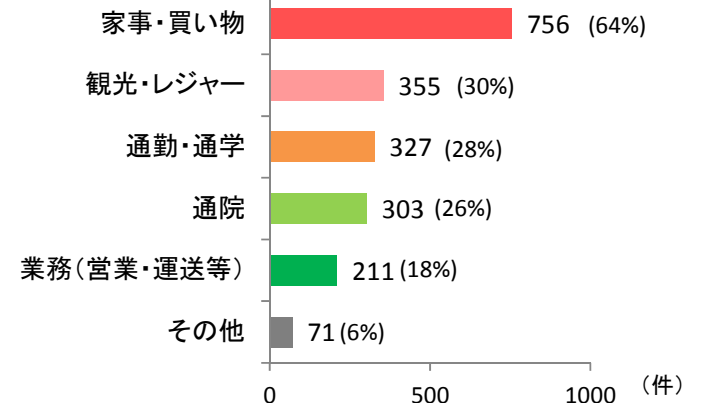
【柏地区】

回答者数 N=530、総意見数 N=908



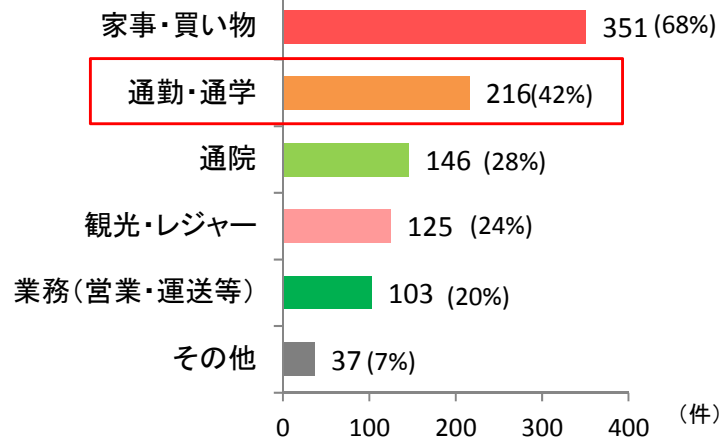
【木造地区】

回答者数 N=1,179、総意見数 N=2,023



【森田地区】

回答者数 N=520、総意見数 N=978



※() は、回答者数に対する割合

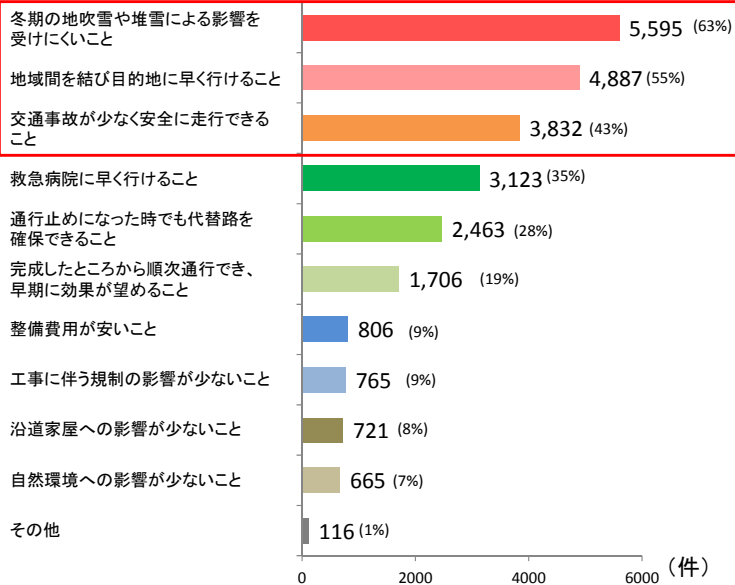
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目では、「冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと」が約6割と最も多く、次いで「地域間を結び目的地に早く行けること」「交通事故が少なく安全に走行できること」が4割以上と多い。
- ◆「救急病院に早く行けること」が鱒ヶ沢町では4割以上と多い。

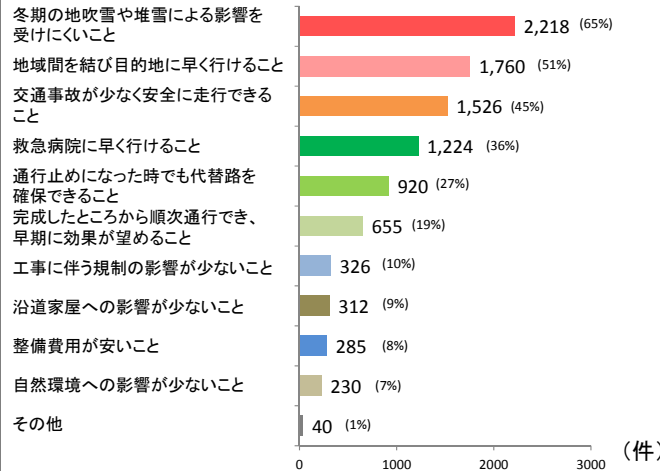
重視すべき項目

【問3】今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思われますか？※3つまで回答可

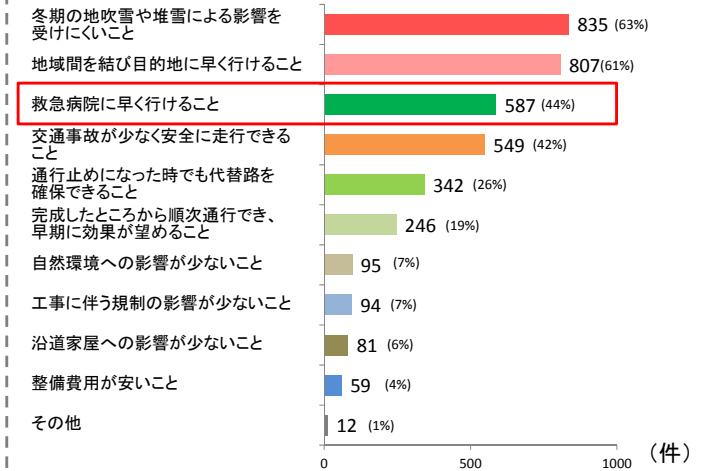
【全体】 回答者数 N=8,933、総意見数 N=24,679



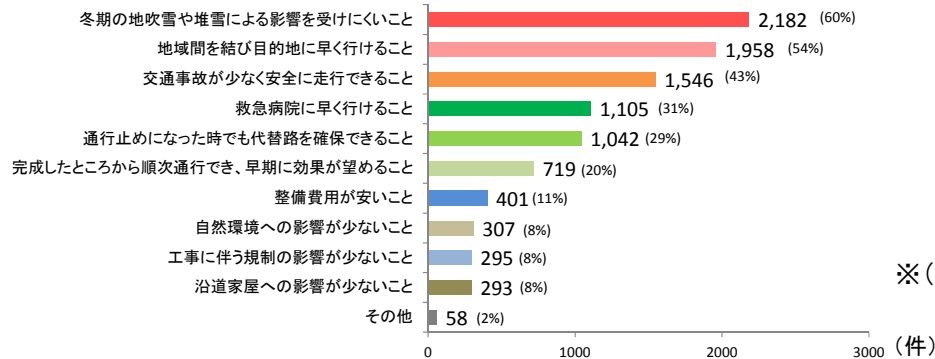
【つがる市】 回答者数 N=3,427、総意見数 N=9,496



【鱒ヶ沢町】 回答者数 N=1,322 総意見数 N=3,707



【五所川原市】 回答者数 N=3,612、総意見数 N=9,906



※その他の主な内容

- ・高規格道路が良いと思う
- ・鉄道が不便なのでその代替となること
- ・現道で十分 等

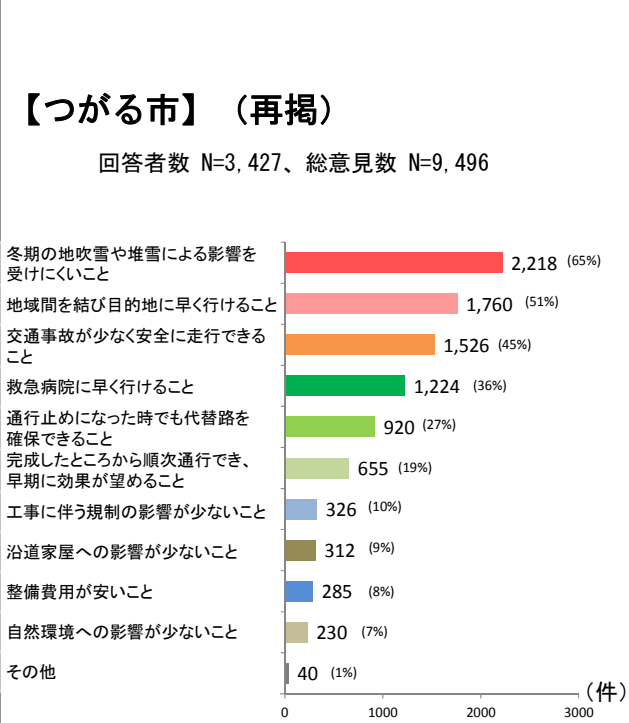
※ () は、回答者数に対する割合

※ () は、回答者数に対する割合

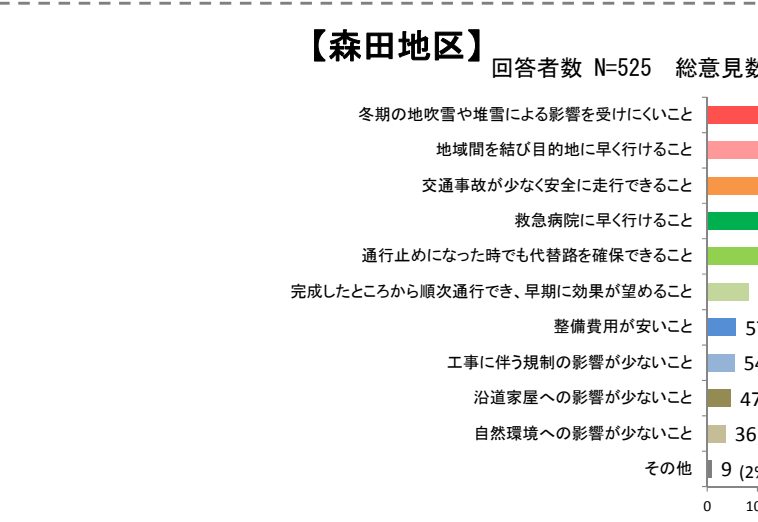
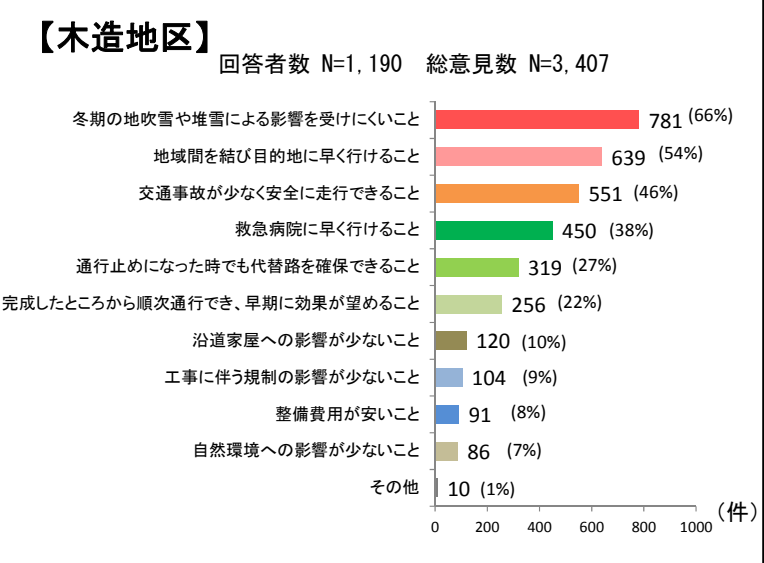
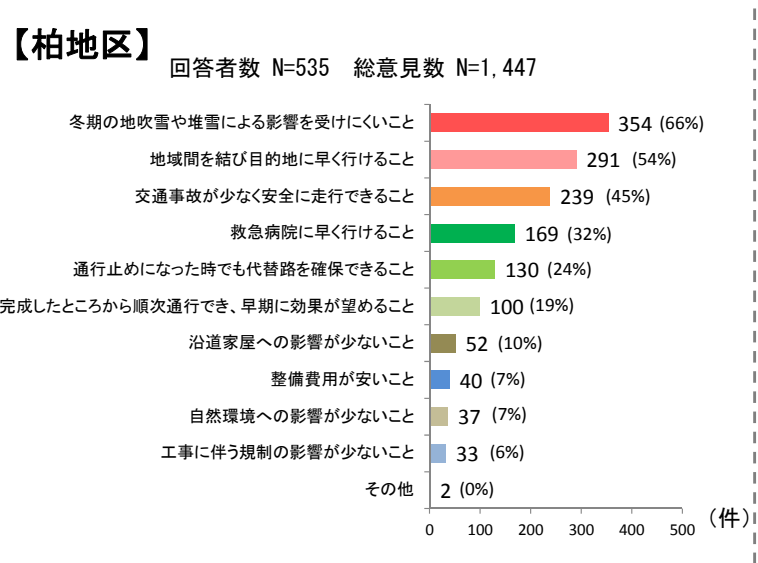
◆つがる市の地区別にみると、重視すべき項目では各地区で同様の傾向。

重視すべき項目（つがる市地区別）

【問3】今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？※3つまで回答可



※() は、回答者数に対する割合



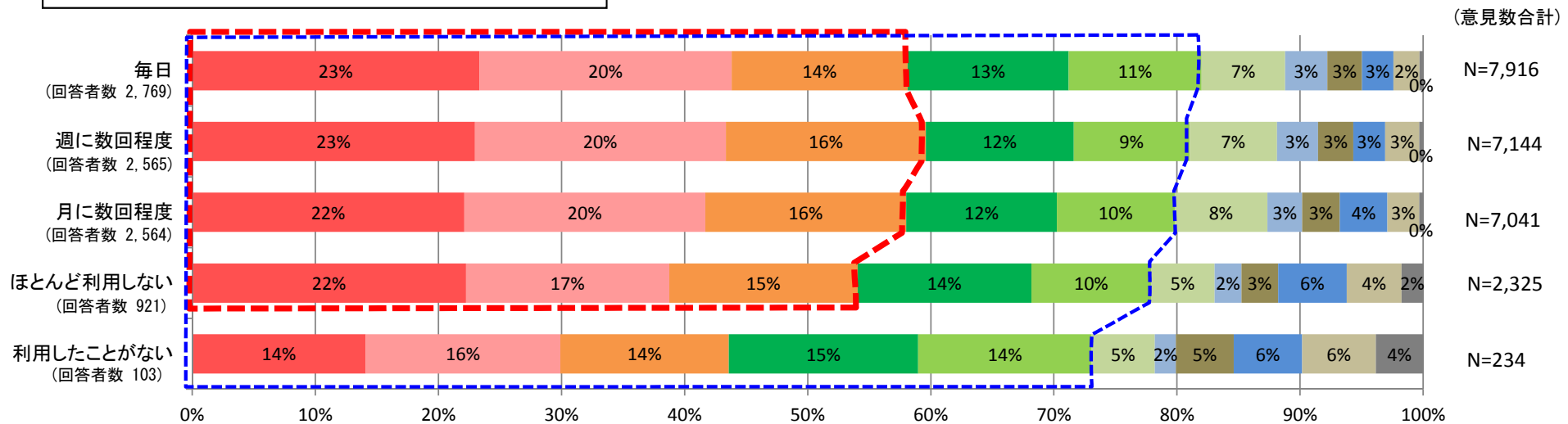
2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆国道101号の利用頻度「毎日」「週に数回」「月に数回」「ほとんど利用しない」では「冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと」や「地域間を結び目的地に早く行けること」「交通事故が少なく安全に通行できること」を重視。
- ◆重視すべき項目の上位5項目は、利用頻度に関わらず全体の7～8割程度を占めており、同様の傾向。

【重視すべき項目（問3）に関するクロス集計】

【利用頻度×重視すべき項目】

※重視すべき項目は複数回答



<凡例>

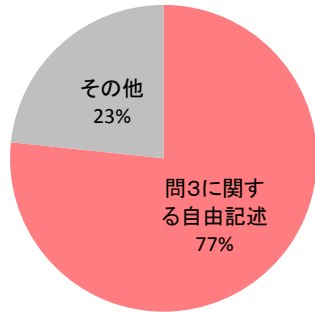
- 冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと
- 地域間を結び目的地に早く行けること
- 交通事故が少なく安全に走行できること
- 救急病院に早く行けること
- 通行止めになった時でも代替路を確保できること
- 完成したところから順次通行でき、早期に効果が望めること
- 工事に伴う規制の影響が少ないこと
- 沿道家屋への影響が少ないこと
- 整備費用が安いこと
- 自然環境への影響が少ないこと
- その他

◆ 問3での選択項目に関する具体記述は、「冬期の地吹雪・堆雪等の影響回避」に関わる記述が最も多く、「地域間の速達性」、「安全に走行できること」、「救急病院への速達性」と続き、問3と同様の傾向。

【問4】問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。 ※自由記述

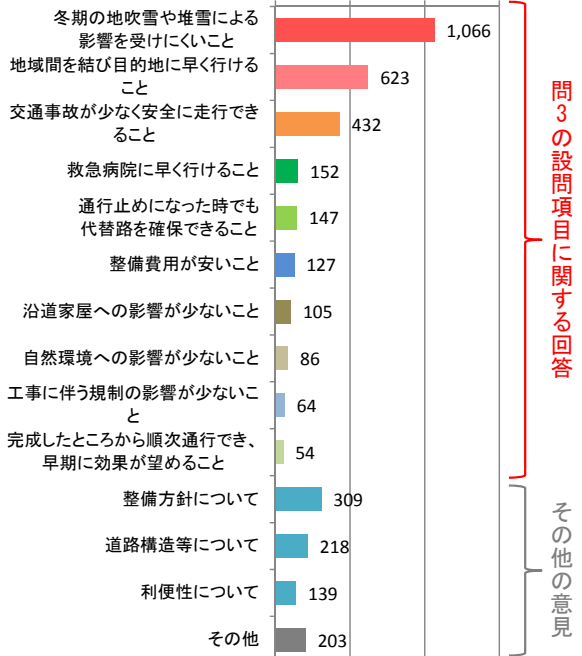
■意見件数

回答者数 N=3,153 総意見数 N=3,725



■分類別意見数

0 500 1,000 1,500 (件)



問3の設問項目に関する回答

その他の意見

■主な意見

分類	住民アンケートによる主な意見の具体例
冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと	<ul style="list-style-type: none"> 冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいルートを選んでほしい (鱒ヶ沢町/60代男性) 国道101号は、冬期の地吹雪の影響を受けやすく頻繁に渋滞する。更に道路幅も狭いので、新設道路の整備は必要不可欠である (つがる市/50代男性)
地域間を結び目的地に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> 県都青森市や新幹線駅へのアクセス性向上は地方への企業進出、物流の効率化、観光への波及効果等が期待できる (鱒ヶ沢町/60代男性) 県外、外国からの観光ブームが期待されるので、柏～浮田間が早期に完成すると、経済効果波及が大きいと思う (五所川原市/70代以上男性)
交通事故が少なく安全に走行できること	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の危険性を減らしてスムーズに交通が流れるためには、人や自転車が通行できない自動車専用道路が望ましい (鱒ヶ沢町/40代男性) 信号交差点等が無く、安全に目的地に早く着けるような道路を望みます (つがる市/30代男性)
救急病院に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> 西海岸地区の救急医療の実情を考えると、五所川原市や青森市の救急医療施設への搬送時間の短縮が大切だと思います (五所川原市/50代男性)
通行止めになった時でも代替路を確保できること	<ul style="list-style-type: none"> この地域の主要道路は国道101号しかなく災害・雪害で通行止めになった場合の代替路の確保の意味でも全線新設がよい (つがる市/50代男性) 災害時の避難路、物資等供給路としての複数ルートの確保 (鱒ヶ沢町/50代男性)
整備費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> 目的地に早く行くことはもちろん、費用的にも安価であってほしい (鱒ヶ沢町/50代男性) 費用対効果の重視 (五所川原市/40代男性)
沿道家屋への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 沿道家屋へ騒音・振動が影響しないようになるべく家屋がある所は避ける (五所川原市/60代男性)
自然環境への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 外国からの観光客 (インバウンド) も考えて、津軽平野の自然を残す形でルート設計をしてほしい (つがる市/50代男性)
工事に伴う規制の影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 普段でも混雑するのに工事のために渋滞するのは困る (つがる市/20代男性)
完成したところから順次通行でき、早期に効果が望めること	<ul style="list-style-type: none"> 早く利用できる事も、住民にとっては当然、大きな利点である。部分的に完成しているなら利用させてほしい (鱒ヶ沢町/50代女性)

※その他には否定的意見を含む

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

◆ その他の意見では、早期整備要望や対策案への意見など「整備方針」に関するものや、「道路構造等」や「利便性」に関する意見が多く寄せられた。

【問4】問3でチェックした項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。 ※自由記述

分類	主な意見
その他	<p>「整備方針」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早期整備要望 <ul style="list-style-type: none"> ・物品輸送時の利便性向上や地域の活性化につながるので、少しでも早く事業を進めていただきたいです（鱈ヶ沢町／20代男性） ・津軽道を利用して便利になったとの声が多いので、早期実現を希望します（つがる市／50代女性） ○全線新設案への意見 <ul style="list-style-type: none"> ・現道は農耕車や原付、軽トラックが多く交通障害が有る。自動車専用道路が必要（つがる市／50代男性） ・全線新設案でなければ現状の問題解決にはならないと思う（鱈ヶ沢町／30代男性） ○新設+現道改良案への意見 <ul style="list-style-type: none"> ・利便性と費用対効果を十分検討のうえ実施していただきたい。新設+現道改良案が適当であると思います（つがる市／60代男性） ○現道改良案への意見 <ul style="list-style-type: none"> ・交通量は今後減少していくと思うので、現存の道路を利用すべきである（五所川原市／40代男性） <p>「道路構造等」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の森田バイパス区間は防雪柵は設置されているが風向きの影響により地吹雪が解消されない状況にあるので、ルート検討時に考慮ねがいたい（五所川原市／60代男性） ・ルートの的に田んぼ等、地盤の軟らかい所に盛土主体の構造なので、地震・突風・浸水等自然災害にも耐えられる強く安全でしっかりした土台（基礎）を作してほしい（つがる市／50代女性） ・自動車道ですので制限速度を80kmにし、追越車線の設置や地吹雪に対応した施設の整備を図ってもらいたい（五所川原市／60代男性） ・緊急車両が通行する為には、全線でなくとも一部に片側2車線の所を作り追越しできる様にした方がいい（つがる市／40代男性） ・地吹雪の強い地域なので照明・誘導灯及びすべり止め等の対策をしっかりとしてほしい（五所川原市／60代男性） <p>「利便性」に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域とのアクセスを良くし、地域住民の生活の利便性を高める。観光を含めた産業の振興に配慮する（五所川原市／70代以上男性） ・公共交通の発達していないつがる市において、都市間を結ぶ高速と、生活道を連携させること（つがる市／10代男性） <p>「否定的意見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口も減少し交通量もそんなに増えないので現道で充分（つがる市／60代男性） ・目的地に早く着ける事はいい事だと思うが、費用を考えるといらないのでは（五所川原市／50代男性） <p>「その他意見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の通勤などで利用する、利用頻度が多い人達の意見をよく取り入れながら検討してほしい（五所川原市／50代／男性）

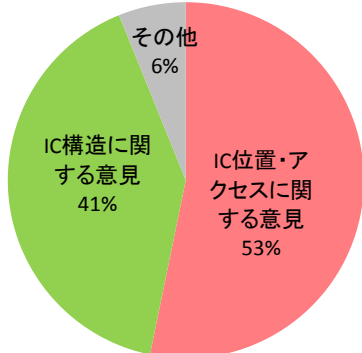
※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

2-3. 第2回意見聴取の結果 住民アンケート

◆ インターチェンジなどの連結位置については、「市街地（集落）や主要な道路等」へのアクセス性の配慮や「安全性の確保や地吹雪等の影響を受けにくいこと」など構造に関する意見も多く寄せられた。

【問5】インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ ※自由記述

■意見件数
回答者数 N=3,000 総意見数 N=3,633



■分類別意見数 (件)

意見の種類	件数
市街地(集落)へのアクセス性	820
主要な道路へのアクセス性	407
生活拠点施設等へのアクセス性	378
IC設置数・間隔に関して	178
沿道家屋・自然環境等に配慮	98
地域の発展に寄与	47
安全に乗り降りができること	565
IC位置の案内の分かりやすさ	269
渋滞・混雑を引き起こさないこと	217
地吹雪等の影響を受けにくいこと	145
駐車場や休憩施設等の設置	120
IC付近の道路構造に関して	119
コンパクトな設計・低コスト	47
その他	223

※その他には否定的意見を含む

■主な意見

分類	住民アンケートによる主な意見の具体例
IC位置・アクセスに関する意見	市街地（集落）へのアクセス性 <ul style="list-style-type: none"> 市街地からの利便性を重視してほしい（つがる市／50代男性） 主要な集落や商業地域に近い場所に設置してもらいたい（つがる市／70代以上男性）
	主要な道路へのアクセス性 <ul style="list-style-type: none"> 既存の幹線道路にスムーズに連絡出来る位置を重視していただきたい（つがる市／60代男性） 沿道民家等への影響が少なく、主要道路へスムーズにアクセスできること（五所川原市／50代男性）
	生活拠点施設等へのアクセス性 <ul style="list-style-type: none"> 市役所等公共施設が近くにあること（つがる市／50代男性） 地域振興のためにも観光地へのアクセスを優先すべき（つがる市／30代男性）
	ICの設置数・間隔について <ul style="list-style-type: none"> 冬期の吹雪時を考慮し、間隔を短めに、数は多めに設定（五所川原市／40代男性）
	沿道家屋・自然環境に配慮 <ul style="list-style-type: none"> 自然環境への影響が少なく便利に利用できること（五所川原市／60代男性）
	地域の発展に寄与 <ul style="list-style-type: none"> 物流効率の良い場所に設けることが地域経済の活性化につながると思う（鱈ヶ沢町／50代男性）
IC構造に関する意見	安全に乗り降りができること <ul style="list-style-type: none"> 出入のし易さや、安全性を確保してほしい（五所川原市／50代男性）
	IC位置の案内の分かりやすさ <ul style="list-style-type: none"> 逆走防止の為にも分かりやすい案内表示を設置（五所川原市／30代女性）
	渋滞・混雑を引き起こさないこと <ul style="list-style-type: none"> 合流地点が混まないでスムーズに出入できること（つがる市／50代男性）
	地吹雪等の影響を受けにくいこと <ul style="list-style-type: none"> 冬期の地吹雪の影響を受けにくいよう配慮（つがる市／60代男性）
	駐車場や休憩施設等の設置 <ul style="list-style-type: none"> トイレがある休憩可能な施設等がすぐ近くにあること（青森市／30代男性）
	IC付近の道路構造に関して <ul style="list-style-type: none"> 交通量が多い所は、信号を付けてほしい（五所川原市／60代男性）
コンパクトな設計・低コスト <ul style="list-style-type: none"> インターチェンジは費用を削減した簡単な形式でもよい（五所川原市／50代男性） 	

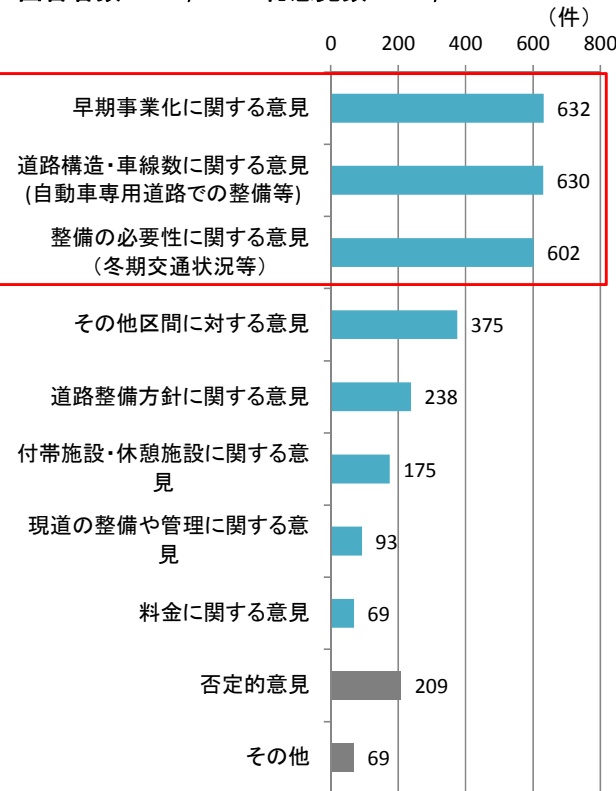
※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

◆ これまでの質問以外の自由意見として、「早期事業化を望む意見」や「道路構造・車線数に関する意見」、「道路整備の必要性に関する意見」が多く寄せられた。

【問6】 これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせください。 ※自由記述

■分類別意見数

回答者数 N=2,646 総意見数 N=3,092



■主な意見

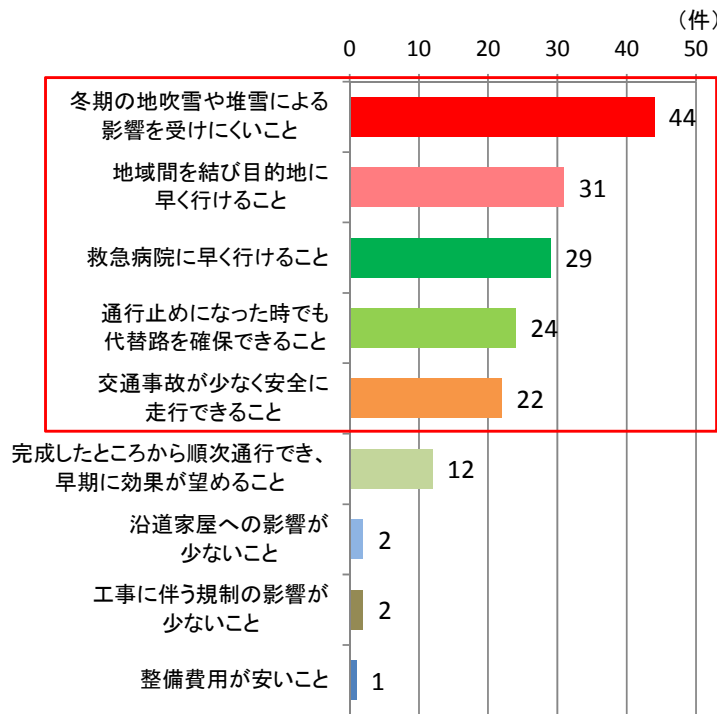
分類	住民アンケートによる主な意見の具体例
早期事業化に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 七里長浜港の活用や白神山地の観光等での経済の活性化が期待できるので早期整備をお願いします (鱒ヶ沢町/50代男性) 西北五地方はつがる総合病院しかなく、これは命の道路でもあることから早期着工をお願いしたい (鱒ヶ沢町/60代男性)
道路構造・車線数について (自動車専用道路での整備等)	<ul style="list-style-type: none"> 物流、観光と大型車が増加すると思うので、自動車専用道が必要 (つがる市/70代以上男性) 岩木川が氾濫したとき道路が浸水して通行できなくなるため、高さのある自動車専用道路を作ってほしい。緊急避難場所にもなる (つがる市/50代男性) あまりカーブさせずに、最短ルートでなるべく直線に (つがる市/50代男性) ゆっくり走る車がいるので、出来れば片側二車線にしてほしい (つがる市/60代男性)
整備の必要性に関する意見 (冬期交通状況等)	<ul style="list-style-type: none"> 柏～鱒ヶ沢間は地吹雪地帯であり道路は東西方向になると思うので、冬期間の対策は十分に考慮してもらいたい (つがる市/60代男性) 津軽自動車道は、災害時の避難や救援に不可欠な道路である。特に、水害などの場合の一次避難場所となりえる重要な施設である (つがる市/50代男性) 鱒ヶ沢方面から青森、弘前へのスムーズな通行が可能となり通勤・通院の広域化が図れる (つがる市/50代男性)
その他の区間に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 鱒ヶ沢道路の早期供用が待ちどおしいです。多くの方の日本海側への観光等への誘客になればと思っています (五所川原市/40代男性) 秋田県まで日本海ルートで時間短縮されたらありがたい (五所川原市/60代男性)
道路整備方針に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 国道101号は西海岸との物流のみでなく、文化、教育、防災の上で、不可欠なもの。工事中の交通障害はあってはならない (鱒ヶ沢町/60代男性)
付帯施設・休憩施設に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> パーキングエリアがあれば良いのと、インターチェンジ付近に追い越し車線を設けてほしい (つがる市/50代男性)
否定的意見	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化が進んでいる地域なので今のままでいいのでは (五所川原市/50代男性) 整備費用にかかる予算をもっと別な事に使ってほしいです (五所川原市/50代女性)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 五所川原市の中でも柏からは遠い方に住んでおり正確なことは言えないです。柏より西の人の意見を重視してください (五所川原市/30代男性)

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

- ◆66企業・団体へのヒアリングを実施し、ルート帯案を検討する際に地域にとって重視すべき項目について、具体的なご意見いただいた。
- ◆ルート検討時に重視すべき事項としては、「冬期の地吹雪・堆雪による影響回避」に関する意見が多く、次いで「地域間の速達性」、「救急病院への速達性」を重視する意見が多く寄せられた。

【問1】

今回、複数のルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視すべき項目はどれだと思いますか？ ※3つまで回答可



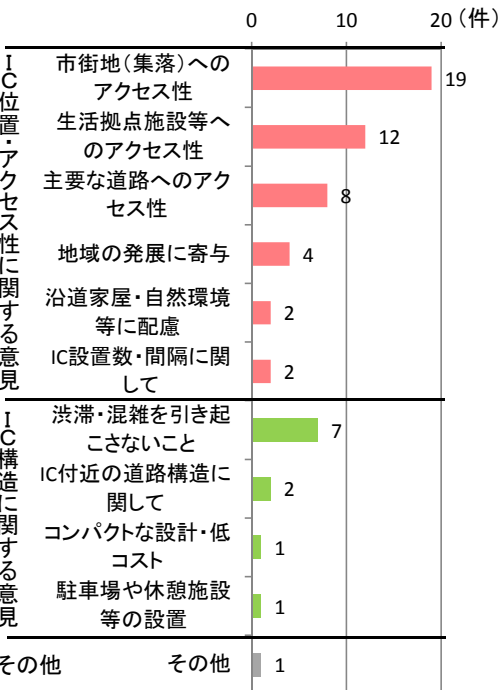
【問2】

問1で選んだ項目について、今後具体的なルートを検討する際に配慮すべき事項があれば、具体的にお聞かせください。

冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は地吹雪等による交通環境の悪さから、雪道の運転に不安のある遠方の観光客から敬遠されがちである。冬期においても悪天候の影響が少なくなり、安全に走行できる環境を検討していただきたい（鱒ヶ沢町／観光事業者） ・冬期につがる市柏から鱒ヶ沢方面へ国道101号を走行した場合、風雪が真っ正面から吹き視界が無くなることもある。できる限り冬期の風向きを考慮してルートを検討してほしい（鱒ヶ沢町／農林水産業） ・冬期は道路状況により市場からの出発時間を早くせざるを得ない。地吹雪により前方が少ししか見えなくても追突される危険を恐れながら前に進むしかないため、冬期の地吹雪対策を最大限に考えてもらいたい（深浦町／農林水産業）
地域間を結び目的地に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> ・五所川原西バイパスの開通により青森市までの移動時間が短縮したことで、鱒ヶ沢町の産地直売所の集客の増加を感じている。地域産業振興のためには、津軽自動車道の全線開通を期待（鱒ヶ沢町／農林水産業） ・地域間の移動時間の短縮が見込まれるため、物流の効率化が図られ七里長浜港の更なる利用促進に加え、港湾利用と連動した産業立地も期待される（鱒ヶ沢町／物流関連） ・移動時間が短縮されれば新たなツアーを設定できる可能性があるため、津軽自動車道の早期全線整備に期待している（板柳町／観光事業者）
救急病院に早く行けること	<ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送の際は搬送時間が短縮され、傷病者に振動等の負担を掛けず搬送できる事が望ましい（つがる市／救急医療関連）
通行止めになった時でも代替路を確保できること	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した場合、国道101号が災害支援等で最も重要な道路であるため、現道が通行止めになった場合でも代替路が確保されている事が不可欠（鱒ヶ沢町／防災関連）
交通事故が少なく安全に走行できること	<ul style="list-style-type: none"> ・国道101号を自転車で通学している生徒もおり、現在の国道も交通事故が少なく安全になってほしい（つがる市／教育機関）
完成したところから順次通行でき、早期に効果が望めること	<ul style="list-style-type: none"> ・10年、20年後ではなく、早期に効果を出して行かなければ、どんどん効果が少なくなってしまふ（つがる市／商業関連）

◆企業・団体ヒアリングにおいては、インターチェンジの連絡位置を検討するうえで配慮すべき事項の他、整備方針に関わるご意見をいただいた。

■分類別意見数

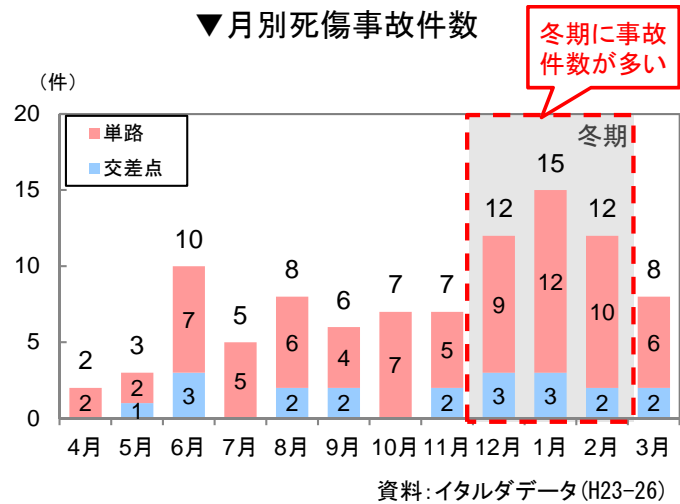


【問3】	インターチェンジなどの連絡位置を計画する際、どのようなことに配慮すべきと思いますか？ ※自由記述
I C位置・アクセス性に関する意見	<p><市街地(集落)や主要な道路へのアクセス性></p> <ul style="list-style-type: none"> 人口の多い集落にアクセスしやすい位置に接続されると便利だと思う(五所川原市/教育機関) 主要な幹線道路(県道)とつながりやすくしてほしい(鱒ヶ沢町/農林水産業) 各方面へ連絡しやすいように、各地域への分岐点に近い場所にインターチェンジを設けて欲しい(五所川原市/救急医療関連)
	<p><生活拠点施設等へのアクセス性></p> <ul style="list-style-type: none"> 商業施設とインターチェンジが隣接していると、買い物に来る人がアクセスしやすくてよい(つがる市/商業関連) 主要観光地にアクセスしやすく利便性に配慮した場所に接続されることが望ましい(鱒ヶ沢町/観光事業者) 旅行者の買い物、休息などの拠点となる道の駅もりたへのアクセスが良い場所に接続するとよい(五所川原市/観光事業者) 鱒ヶ沢病院などのサテライト医療機関からつがる総合病院(中核病院)への搬送が多いことから、各病院からの利便性を考慮した位置を期待します(つがる市/救急医療関連) 物流の効率化が図られ地域経済が活性化するように、七里長浜港や屏風山地域など各地域へアクセスしやすい場所が望ましい(鱒ヶ沢町/物流関係)
I C構造に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> 大型トラック等が通るのに十分な道幅があること(青森市/物流関連) インターチェンジの周辺道路が混雑しないような位置に計画するとよい(五所川原市/防災関連) 各インターチェンジから国道へのアクセス道路を整備してほしい(つがる市/教育機関)

【問4】	これまでの質問以外に、ご意見がありましたらお聞かせください。 ※自由記述
自専道での整備について	<ul style="list-style-type: none"> 津軽自動車道(柏~浮田)ルート案について、コストもかかり時間を要するが、地域間の移動時間短縮や代替路の確保、視界不良の改善が見込め、工事中の通行規制が少ないことから全線新設案が望ましいと考える(鱒ヶ沢町/物流関連)
早期事業化について	<ul style="list-style-type: none"> 津軽自動車道が開通すれば、輸送時間が短縮し業務効率が上がるため、計画の早期実施を求める(つがる市/農林水産業) 早期に事業着手し、青森県内全体の利便性向上に向け、道路環境の改善に取り組んでいただきたい(鱒ヶ沢町/観光事業者)
整備による効果	<ul style="list-style-type: none"> 柏~浮田間の開通により、輸送時間が短縮され運搬距離を伸ばすことができ、販路拡大も期待できる(鱒ヶ沢町/物流企業) 津軽道の整備により、地理的に幅広い活動が展開でき、質の高い教育活動や研修の実現が可能となるので、ぜひ進めてほしい(つがる市/教育機関)
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> 津軽自動車道から地域の名所などを案内できれば、地域住民の生活の利便性が向上するだけでなく、他地域から観光客に対して津軽の魅力をアピールできるのではないかと考える(つがる市/商業関連)

2-5. 地域特有の道路課題と意見聴取結果

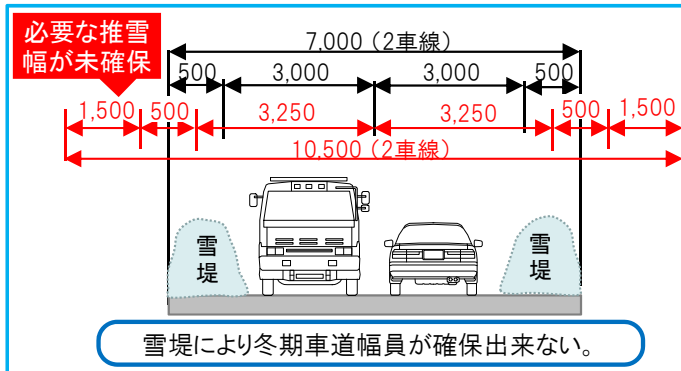
- ◆意見聴取結果では、「冬期の地吹雪や堆雪等による影響の回避」を求める声が多く寄せられた。
- ◆冬期は地吹雪等による視程障害や路肩への堆雪による大型車すれ違い困難な状況などが頻繁に発生。
- ◆交通環境の悪化により、吹雪日の旅行速度は著しく低下し、冬期は通常期に比べ事故件数が増加。
- ◆国道101号の課題である冬期交通環境の改善が図られる道路整備が望まれている。



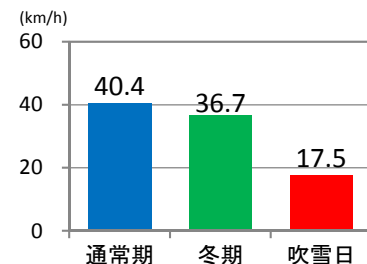
▼対象区間における地吹雪・事故の発生状況



▼狭隘区間の冬期車道幅員



▼柏～浮田における冬期旅行速度低下



※資料: 民間プローブデータ
 [通常期]H27.4～6ピーク時
 [冬期]H26.12～H27.2降雪日ピーク時
 [吹雪]冬期間のうち特に気象条件の悪い日

冬期交通環境に対する意見

- ・冬期間に正面から風を受けると、非常に視認性が落ちるため、整備の際には配慮(工夫)が必要(つがる市/40代男性)
- ・津軽の地吹雪の最も厳しい場所を通るので盛土を高した方が地吹雪の影響をうけないと思う(鱈ヶ沢町/70代以上男性)

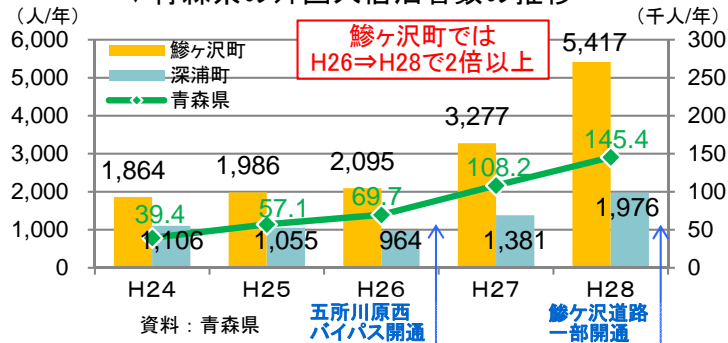
2-6. 青森県における周遊観光推進に向けた取組

- ◆青森県では、新幹線開業、国際クルーズ船の寄港回数増加などを背景に、更なる観光振興を推進中。
- ◆平成29年2月には、青森県から津軽半島地域の周遊観光ルートの機能強化に向けたビジョンが示された。
- ◆津軽自動車道は青森県の道路事業と一体となり、観光振興を通じた津軽半島地域の発展への貢献が期待される

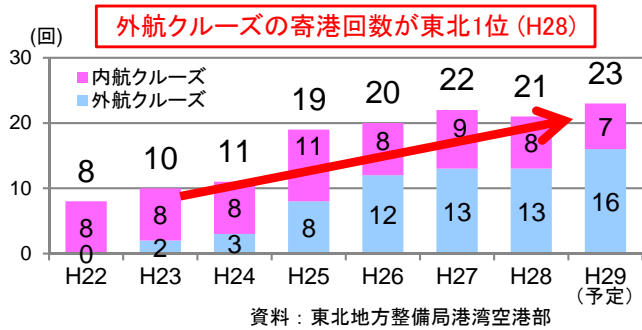
[青森県における観光振興の現状]

[H29.2「津軽半島周遊道路ネットワーク」を策定（青森県）]

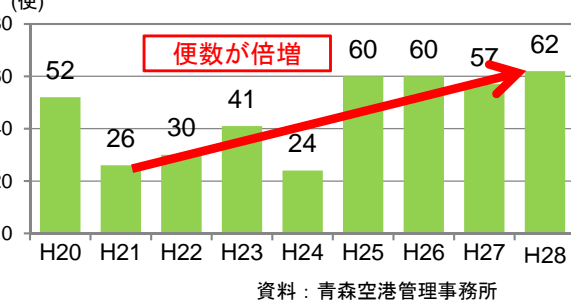
▼青森県の外国人宿泊者数の推移



▼青森港へのクルーズ船寄港回数



▼青森空港の国際チャーター便数



津軽半島の周遊観光の推進に向け、ネットワーク機能強化を図る優先路線の位置づけ

津軽自動車道は最重要路線として「津軽横断軸」に位置づけ



3. 対応方針（原案）の検討

3-1. ルート帯案の検討（政策目標と対策案）

- ◆ 当該地域の道路交通の現況や、地域の課題等をふまえ政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- ◆ 対策案を検討する上では、沿線住民の生活環境や自然環境、コストなどに配慮。

○対策案の検討方針

- 地域・道路の状況と課題
- 地域の将来像
- 住民や企業等への意見聴取結果

- 【医療関連】** 高次施設と地域の速達性を向上し、救急搬送時の定時性を確保する道路とは
- 【冬期交通環境】** 吹雪や地吹雪による視程障害や、堆雪による速度低下を防ぎ冬期の厳しい気象状況下でも信頼できる道路とは
- 【地域振興関連】** 観光地と交通拠点、生産地と消費地の連絡性を高め、地域の観光や産業の活性化を促進する道路とは
- 【災害関連】** 日本海沿岸部津波被災時等にも救援ルートとしての機能を有する道路とは
- 【走行空間】** 沿道施設や出入り交通との錯綜を防ぎ、交差点での事故防止など安心して利用できる道路とは

○当該地域の政策目標を確定

- 政策目標**
- 医療施設への速達性向上
 - 冬期交通環境の改善
 - 地域振興の支援
 - 信頼性の高い道路ネットワークの確保
 - 安全な走行空間の確保

○対策案を検討する上での配慮事項

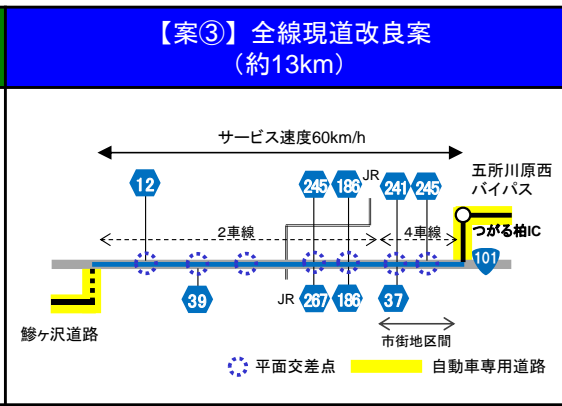
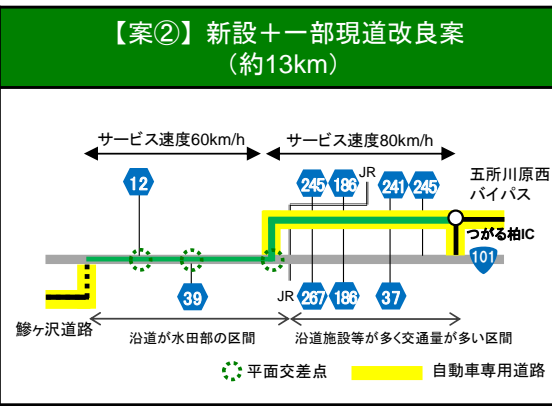
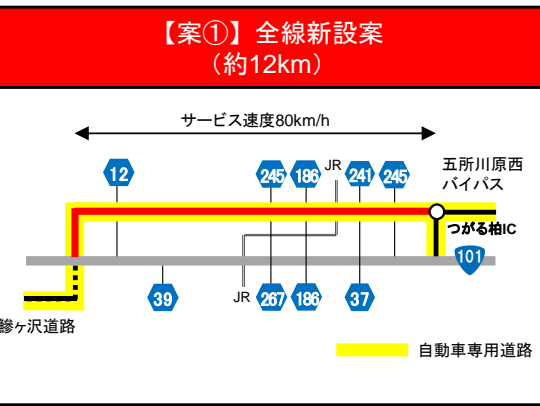
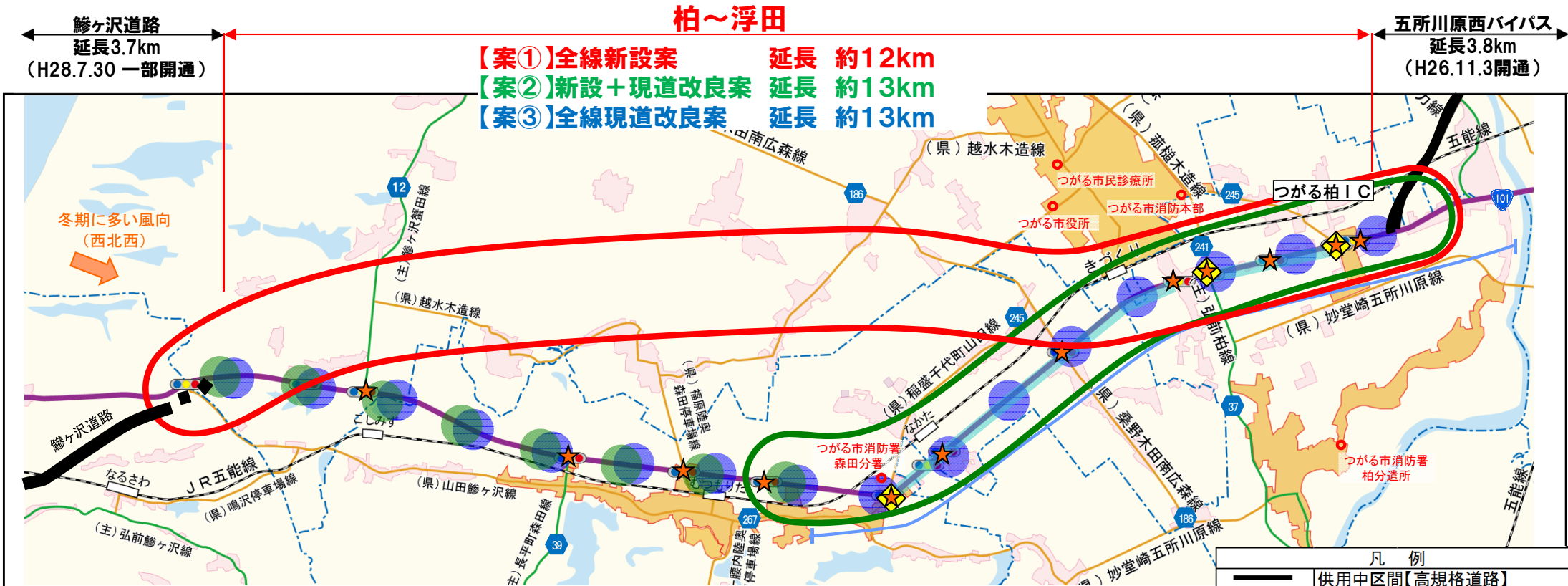
- 自然環境、生活環境**
 - ①家屋など生活環境の保全
 - ②自然環境の保全
- コスト**
 - ①整備に要する費用

○政策目標を達成するための考えられる対策案

- 全線新設案**
 - 全線で新たな自動車専用道路を整備する案
(サービス速度80km/hの自動車専用道路)
- 新設+現道改良案**
 - 一部で新しく自動車専用道路を整備するとともに、現道を改良する案
(サービス速度80km/hの自動車専用道路+60km/hの一般道路)
- 現道改良案**
 - 全線で現道を改良する案
(サービス速度60km/hの一般道路)

3-1. ルート帯案の検討 (対策案(ルート帯案)の比較)

◆政策目標を達成するための対策案について、主要なコントロールポイントに配慮し3案を設定。



凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	案① 全線新設案
	案② 現道改良案(新設整備区間)
	案② 現道改良案(現道改良区間)
	案③ 現道改良案
	主要渋滞箇所
	事故の発生割合が高い箇所
	狭隘区間(幅員7m以下)
	岩木川の氾濫による想定浸水区域

3-1. ルート帯案の検討（複数案の比較・評価）

◆【案①】全線新設案は、【案②】新設+現道改良案や【案③】全線現道改良案に比べ、全ての政策目標の達成が見込めるほか、意見聴取においてルート帯案を検討する際に重視すべきとの回答が多かった「冬期の地吹雪や堆雪による影響を受けにくいこと」「地域間を結び目的地に早く行けること」「救急病院に早く行けること」「通行止めになった時でも代替路を確保できること」について優れている。

評価項目		自動車専用道路（サービス速度80km/h）		一般道路（サービス速度60km/h）			
項目	指標	【案①】全線新設案（約12km）	【案②】新設+現道改良案（約13km）	【案③】全線現道改良案（約13km）			
政策目標	医療施設への速達性向上	医療施設への搬送時間の短縮や安定性 ・搬送時間が 短縮される ・搬送時間が 安定する	○	・新設区間では搬送時間が 短縮され、安定する ・現道改良区間では搬送時間の短縮や安定が それほど見込めない	△	・搬送時間の短縮や安定が それほど見込めない	△
	冬期交通環境の改善	堆雪や地吹雪等による速度低下 ・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体で、風向きに対する道路方向が改善されるため、視界不良の 改善が見込まれる	○	・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体であるが、現道改良区間で道路方向が改善されないため、視界不良の改善が それほど見込まれない	△	・必要な車道幅員を確保できるため、 速度が向上する ・盛土主体であるが、道路方向が改善されないため、視界不良の改善が それほど見込まれない	△
	地域振興の支援	地域間の移動時間短縮 ・対象地域から周辺地域等への移動時間が 短縮される	○	・新設区間の移動時間は 短縮される が、現道改良区間では 時間短縮が小さい	△	・移動時間の短縮が 小さい	△
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	事故・災害に強い道路の確保 ・新設道路の整備により、通行止め時の代替路が 確保される	○	・新設区間は通行止め時の代替路が 確保される が、現道改良区間は 確保されない	△	・通行止め時の代替路が 確保されない ・岩木川氾濫想定浸水区域が 一部残る	△
	安全な走行空間の確保	交通事故の発生リスク ・沿道出入箇所や交差点が無い ため、事故の発生リスクが減少する	○	・沿道出入箇所や交差点が減少し、事故の発生リスクが 減少する	○	・沿道出入箇所や交差点が減少し、事故の発生リスクが 減少する	○
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋等への影響 ・集落等を極力回避するため、 影響は小さい	○	・現道改良区間で集落等を通過するため、沿道家屋等への 影響がある	△	・集落等を通過し、現道沿いを改変するため、沿道家屋等への 影響が大きい	△
	自然環境	自然環境の改変 ・田園地帯の改変が比較的 大きくなる可能性がある	△	・田園地帯の改変が、新設区間で比較的 大きくなる可能性がある	△	・田園地帯の改変の可能性が、比較的 小さい	○
	早期開通による効果の発現	開通効果の発現時期 ・インターチェンジ間が完成しないと開通できないため、効果発現には 一定の期間を要する	△	・新設区間では、効果発現には 一定の期間を要する ・現道改良区間では、完成したところから開通できるため、 効果発現が比較的早い	△	・完成したところから開通できるため、 効果発現が比較的早い	○
	工事の影響	現道交通への影響 ・現道での通行規制が少ないため、 影響が小さい	○	・現道改良区間で改良に伴い通行規制が発生するため、 影響がある	△	・現道の改良に伴い通行規制が発生するため、 影響が大きい	△
コスト	整備に関する費用	約330～380億円		約300～350億円		約250～300億円	

【凡例】 ○:改善する・満足する △:一部改善する・やや満足する

3-2. 対応方針（原案）の検討

沿線市町住民への意見聴取、企業・団体等へのヒアリングの主な意見

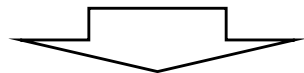
【ルート帯案について】

- アンケートでは、「冬期の地吹雪や堆雪による影響緩和」が最も多く、次いで「地域間の速達性」「安全性の向上」の割合が多く、これらの項目が特に重要視されている。
- ヒアリングにおいても、「冬期の地吹雪・堆雪による影響緩和」に関する意見が多く、次いで「地域間の速達性」「救急病院への速達性」「代替路の確保」を重視する意見が多く寄せられた。
- 自由意見では、「早期事業化」「道路構造・車線数」に関する意見が多いほか、各政策目標に関しての意見、期待の声が多く寄せられた。

【インターチェンジ位置について】

- アンケートでは、「市街地や主要な道路へのアクセス性」「公共施設や観光地へのアクセス性」等への希望のほか、IC構造として「安全性の確保」に対する要望が多く寄せられた。
- ヒアリングでは、アクセス位置に関する意見はアンケートと同様の結果であった。IC構造については、「渋滞・混雑を引き起こさないこと」が重要との意見が多く寄せられた。

政策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえ評価



ルート帯案とインターチェンジ位置の考え方

【ルート帯案の考え方】

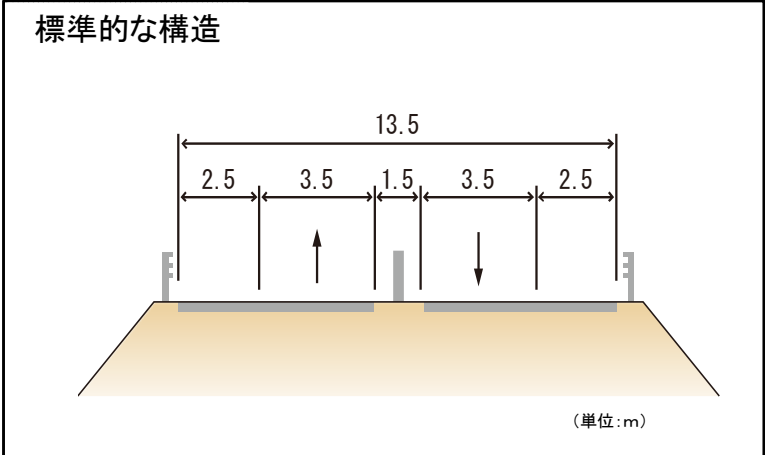
- 冬期の地吹雪等の影響を受けにくく、拠点都市間の所要時間短縮や医療施設までの速達性向上が図られ、事故・災害に強い道路が確保される自動車専用道路による新設ルートとする。

【インターチェンジ位置の考え方】

- 市街地へのアクセス性に配慮し検討する。

3-2. 対応方針（原案）の検討

◆新たに盛土主体の自動車専用道路で、国道101号の課題である地吹雪や堆雪等に対する冬期交通環境の改善や地域間の速達性の向上、代替路の確保を図り、市街地へのアクセス性に配慮したインター構造等を検討し、合理的な事故・災害に強い道路を確保する計画とする。



凡例

(現道101号の課題)

- ◆ 主要渋滞箇所
- ★ 事故の発生割合が高い箇所
- 狭隘区間(幅員7m以下)
- 岩木川の氾濫による想定浸水区域

(道路の整備状況)

- 供用中区間【高規格道路】
- 事業中区間【高規格道路】
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道

(土地利用等)

- 都市計画用途区域
- 集落
- 学校、公共施設、主要拠点
- 文化財
- 重要な動植物、天然記念物

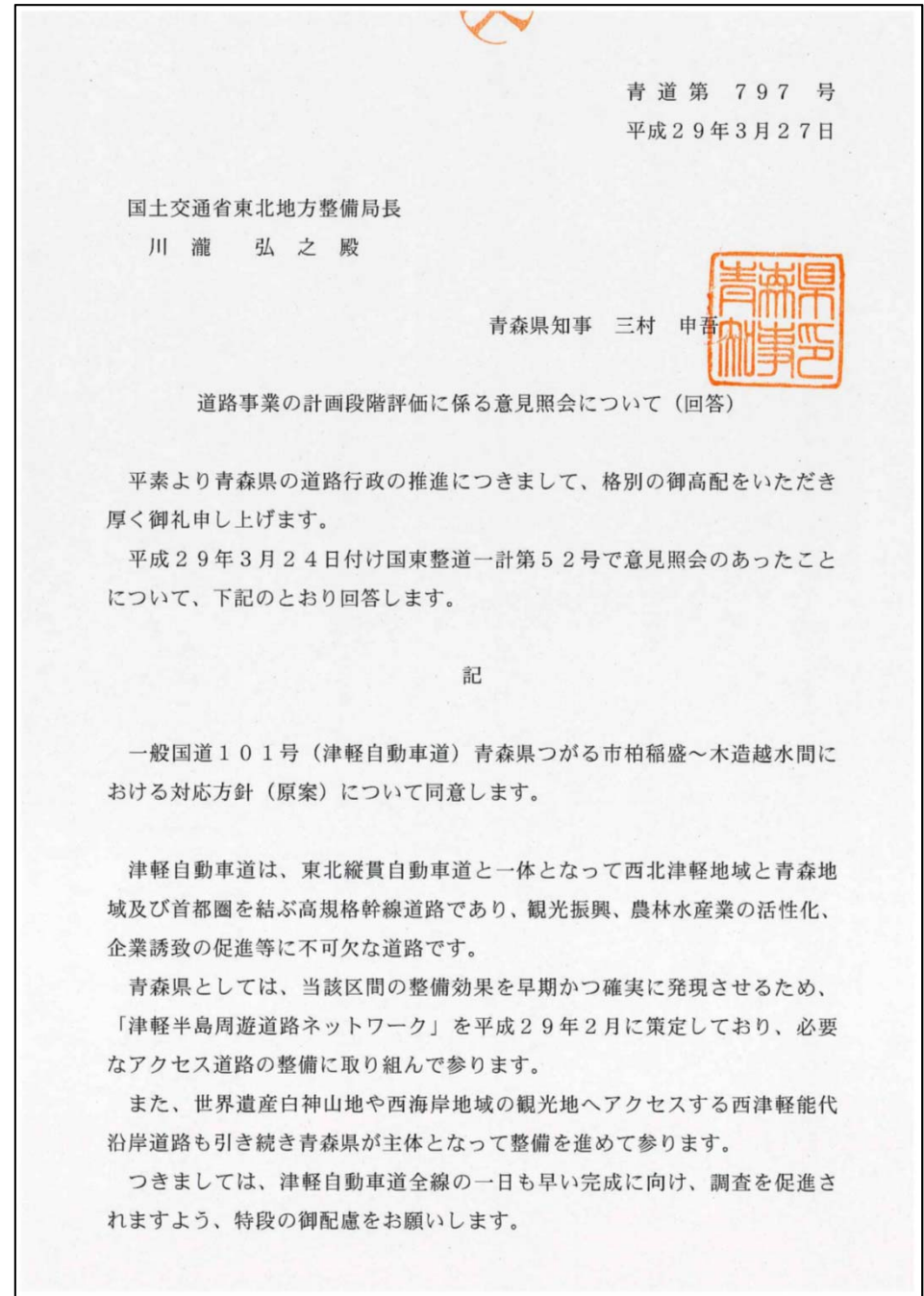
凡例

○: 候補位置

4. 自治体への意見照会結果

■意見照会の回答

自治体名	意見
青森県	<p>一般国道101号(津軽自動車道)青森県つがる市柏稲盛～木造越水間における対応方針(原案)について同意します。</p> <p>津軽自動車道は、東北縦貫自動車道と一体となって西北津軽地域と青森地域及び首都圏を結ぶ高規格幹線道路であり、観光振興、農林水産業の活性化、企業誘致の促進等に不可欠な道路です。</p> <p>青森県としては、当該区間の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、「津軽半島周遊道路ネットワーク」を平成29年2月に策定しており、必要なアクセス道路の整備に取り組んで参ります。</p> <p>また、世界遺産白神山地や西海岸地域の観光地へアクセスする西津軽能代沿岸道路も引き続き青森県が主体となって整備を進めて参ります。</p> <p>つきましては、津軽自動車道全線の一日も早い完成に向け、調査を促進されますよう、特段の御配慮をお願いします。</p>



5. 対応方針（案）のまとめ

5-1. 対応方針（案）

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 医療施設への速達性向上
- 冬期交通環境の改善
- 地域振興の支援（産業・観光の振興）
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 安全な走行空間の確保



- 沿岸部から地域の中核病院へは30分以上、重症の場合は青森市等の第三次医療施設まで60分以上を要する救急搬送となり、**救急医療機関への速達性・安定性が確保される道路**の整備が必要。
- 地吹雪による視程障害の頻発や堆雪による車道幅員の減少に伴う旅行速度の著しい低下や走行の安全性低下が課題であり、**冬期交通障害が改善される道路**の整備が必要。
- 高速道路ICや空港、新幹線駅など主要交通拠点とのアクセス性が悪く、企業立地、観光入込が他地域よりも劣り、**企業活動・観光誘客等を支援する速達性が確保された道路**の整備が必要。
- 西北地域の沿岸部へは緊急輸送道路が国道101号の現道しか存在しないが、柏～浮田間の約6割が岩木川の想定氾濫域となっており、**代替路の確保が図られ災害に強い道路**の整備が必要。
- 市街地では沿道施設からの出入り、農地帯では農道等からの出入り車両が多いため、国道101号現道の出入り交通との錯綜を回避し、**走行時の安全性が確保される道路**の整備が必要。
- 住民アンケートや企業ヒアリング等においても、冬期の影響を受けにくく、安全かつ速達性の高い道路が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針（案）

①計画及びルート帯案

冬期の地吹雪等の影響を受けにくく、拠点都市間の所要時間短縮や医療施設までの速達性向上が図られ、事故・災害に強い道路が確保される自動車専用道路による新設ルートとする。

- （理由）
- 【案①】全線新設案は、【案②】新設+現道改良案、【案③】全線現道改良案に比べ、全ての政策目標の達成が見込め、特に冬期交通環境の改善や速達性の向上に優れているほか、信頼性が高く、安全な道路環境を確保する道路ネットワークを形成することができる。
 - 地域への意見聴取結果からも、「冬期の地吹雪や堆雪による影響の改善」「目的地への速達性」が特に重要視されており、「走行時の安全性」、「救急病院への速達性」、「通行止め時の代替性」を望む意見も多く、対応方針（案）と整合する。

②インターチェンジの位置の考え方

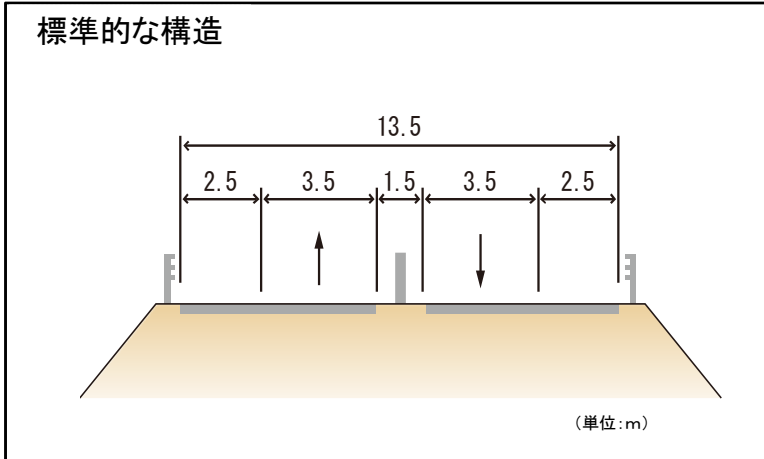
- 市街地へのアクセス性に配慮し検討する。

3. その他

具体の道路構造等の検討に際し、生活環境の保全、自然環境の保全、コスト縮減等にも配慮する。

5-2. 対応方針（案）まとめ

◆新たに盛土主体の自動車専用道路で、国道101号の課題である地吹雪や堆雪等に対する冬期交通環境の改善や地域間の速達性の向上、代替路の確保を図り、市街地へのアクセス性に配慮したインター構造等を検討し、合理的な事故・災害に強い道路を確保する計画とする。



凡例

(現道101号の課題)

- ◆ 主要渋滞箇所
- ★ 事故の発生割合が高い箇所
- 狭隘区間(幅員7m以下)
- 岩木川の氾濫による想定浸水区域

(道路の整備状況)

- 供用中区間【高規格道路】
- ⋯ 事業中区間【高規格道路】
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道

(土地利用等)

- 都市計画用途区域
- 集落
- 学校、公共施設、主要拠点
- 文化財
- 重要な動植物、天然記念物

凡例

○: 候補位置